Panasonic

取扱説明書
（ファンクション設定編）
フルカラーデジタル複合機

品番 DP-C262/C262F
DP-C322/C322F

Copying
Scanning
Printing
Facsimile
Email
Internet Fax

WORKIO™

このたびは、パナソニック フルカラーデジタル複合機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
■特に『取扱説明書（基本編）』の「安全上のご注意」は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。

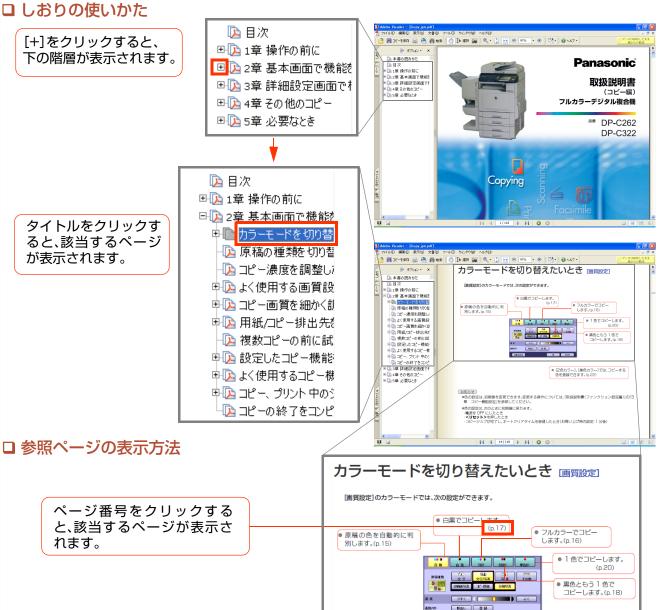
● イラストはオプションを装着した例です。詳しくは、『取扱説明書（基本編）』を参照してください。

上手に使って上手に節電

本書の読みかた

ここでは、PDF のしおりの使いかた、参照ページの表示方法、本書の表記について説明します。

❑ しおりの使いかた

❑ 参照ページの表示方法

(上記画面の内容は、実際の取扱説明書と異なる場合があります。)

❑ 本書の表記について

● 本書では、本機の操作パネルの各キー、タッチパネルディスプレイ上のボタン、コンピューター画面上のボタンなどについて、下記のように表記しています。

< >	操作パネルの各キー(例:スタートキー→**<スタート>**)
[ ]	タッチパネルディスプレイ上の各ボタン、コンピューター画面上のボタンなど(例:基本ボタン→[基本])

● 本機のタッチパネルディスプレイ上のカタカナ文字は、半角と全角が一部混在していますが、本書では、説明文はすべて全角に統一して表記しています。

目次

5 章 スキャナー機能設定

6 章 プリンター機能設定

7 章 カウンター確認

1 章
ファンクション設定の概要

この章では、ファンクション設定の概要、基本的な操作、およびファンクション設定リストの見かたについて説明しています。

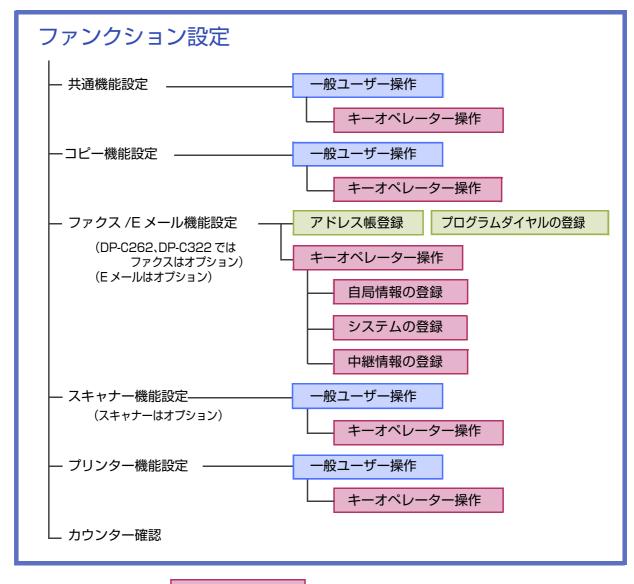
ファンクション設定の概要

ファンクション設定は、初期設定を変更するためのメニューです。ファンクション設定では次のことができます。

- 使用環境に合わせ、ネットワークや E メールのパラメーターを設定する
- より便利に本機を使うために、選択肢の初期値や、機能の有効 / 無効を変更する
- 本機の使用状況（カウンター）を確認する

■ファンクション設定のメニュー構成

ファンクション設定には、一般ユーザー操作とキーオペレーター専用操作があります。

- ファクス /E メール機能設定には、アドレス帳やプログラムダイヤルの登録メニューがあります。
- キーオペレーター操作では、操作の前に、専用のパスワード入力が必要です。
  キーオペレーターとして本機を管理する方は、本機設置時にサービス実施会社とご相談の上、パスワード（4 桁）をお決めください。また、このパスワードは、必ず記録しておいてください。
  設置時にパスワードを決めていない場合は、サービス実施会社にご相談ください。

ファンクション設定の基本操作

ここでは、ファンクション設定の基本的な操作手順の一例を説明します。
実際に設定する場合は、2章以降に記載されている機能設定の一覧表で、設定したい項目を確認してください。

1. <ファンクション>を押す

2. 操作をしたいファンクション設定のボタンを押す

3. メニュー番号のタブを押す

4. メニューのボタンを押す

表示するブロックを変更

- タブのメニューがひとつの画面におさまらない場合は、[01/02]のように、ブロックを表す数字が表示されます。
  ↑、↓を押すと、前のブロック、または次のブロックを表示できます。
- [キーオペレーター専用]を選択した場合は、キーオペレーターのパスワード入力画面が表示されます。パスワード(4桁)を入力し、[OK]を押します。

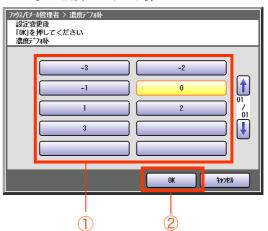
5. 次のいずれかの操作をする

❑ 項目を選択する

選択したい項目のボタンを押し、[OK]を押す

(例:[ファクス/Eメール機能設定]>[04 キーオペレーター専用]>[01 システムの登録]>[01 濃度デフォルト])

① ②

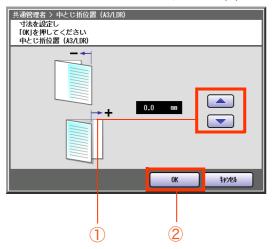
＜次ページへ続く＞

❑ 数値をテンキーで入力する

[入力]を押し、テンキーで数値を入力して[OK]を押す

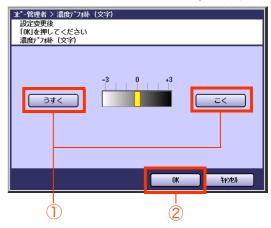
(例: [共通機能設定] > [09 キーオペレーター専用] > [14 節電モードタイマー])

❑ 数値をボタンで設定する

[▲]または[▼]を押し、設定したい値を表示して、[OK]を押す

(例: [共通機能設定] > [09 キーオペレーター専用] > [40 中とじ折位置(A3/LDR)])

❑ 効果の強さをボタンで設定する

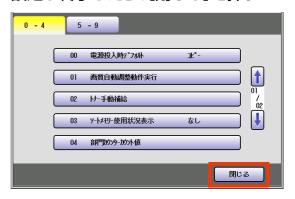
[うすく]や[こく]を押し、設定したい値に目盛りを合わせて、[OK]を押す

(例: [コピー機能設定] > [24 キーオペレーター専用] > [04 濃度デフォルト(文字)])

❑ 文字を入力する

表示されたキーボード画面で文字を入力し、[OK]を押す

(例: [ファクス/E メール機能設定] > [04 キーオペレーター専用] > [00 自局情報の登録] > [01 発信元情報の登録])

● 文字入力については、『取扱説明書(基本編)』の「文字入力のしかた」を参照してください。

6. **設定が終了したら、[閉じる]を押す**

7. **<リセット>を押す**

ファンクション設定をする前の機能の画面に戻ります。

ファンクション設定リスト

■ファンクション設定リストを印刷する

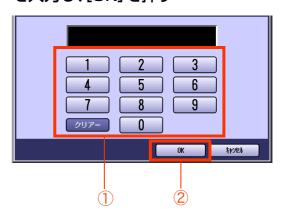
ファンクション設定で設定した内容は、機能ごとにリストを印刷して確認できます。
ファンクション設定リストは、次のメニューから印刷します。

ファンクション設定リスト名	メニュー名
共通機能設定	[09 キーオペレーター専用]＞[00 共通機能設定印刷]
コピー機能設定	[24 キーオペレーター専用]＞[00 コピー機能設定印刷]
ファクス /E メール機能設定	[04 キーオペレーター専用]＞ [00 自局情報の登録]＞[00 自局情報リスト印刷] [01 システムの登録]＞[00 システム登録リスト印刷] [02 中継情報の登録]＞[00 自局情報リスト印刷]
スキャナー機能設定	[29 キーオペレーター専用]＞[00 スキャナー機能設定印刷]
プリンター機能設定	[29 キーオペレーター専用]＞[00 プリンター機能設定印刷]

1. **印刷したいファンクション設定のボタンを押す**

2. **各ファンクション設定の[キーオペレーター専用]を表示し、[キーオペレーター専用]を押す**

（例 : 共通機能設定 ）

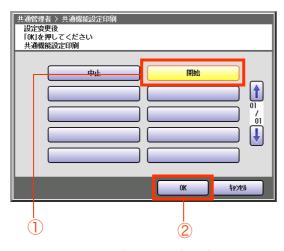
3. **キーオペレーターのパスワード（4 桁）を入力し、[OK]を押す**

4. **ファクス /E メール機能設定の場合は、印刷したいメニューのボタンを押す**

- ファクス /E メール以外の機能設定の場合は、手順５へ進んでください。

＜次ページへ続く＞

5. **ファンクション設定リスト印刷のボタンを押す**

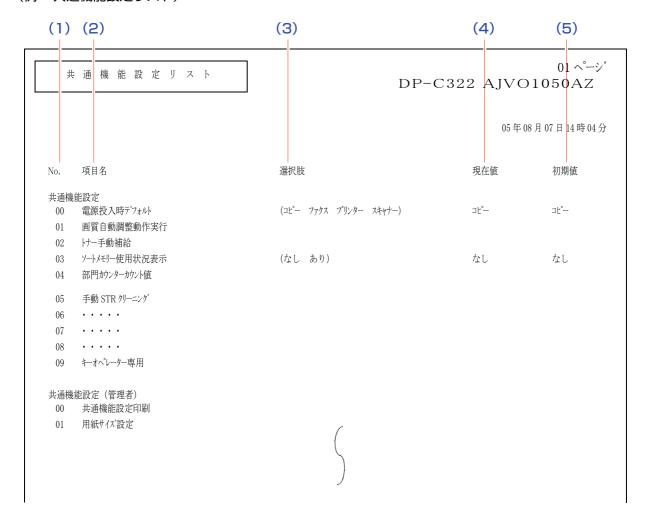
(例：共通機能設定印刷)

6. **[開始]を選択し、[OK]を押す**

ファンクション設定リストが印刷されます。

- 設定が終了したら、**<リセット>**を押します。ファンクション設定をする前の機能の画面に戻ります。

■ファンクション設定リストの見かた

ファンクション設定リストに表示される項目は、次のとおりです。

（例 ： 共通機能設定リスト）

No.	項目	説明
(1)	No.	ファンクション設定の番号です。 ファクス /E メール機能設定の場合は、お買い上げ時の設定（初期値）から設定が変更された項目には、番号の前に＊が付きます。
(2)	項目名	ファンクション設定の項目名です。
(3)	選択肢	ファンクション設定の選択肢です。
(4)	現在値	選択肢のうち、現在設定されている選択肢です。
(5)	初期値	お買い上げ時の設定です。

2章
共通機能設定

この章では、[共通機能設定]の項目について説明しています。
共通機能設定は、本機全体にかかわる項目を設定するためのメニューです。

共通機能設定

共通機能設定では、本機全体にかかわる内容を設定します。
共通機能設定の項目は次のとおりです。

■一般ユーザー

タブ／ No.		項目	説明	選択肢	初期値
0-4	00	電源投入時デフォルト	電源投入時に表示する機能を設定します。	コピー, ファクス , プリンター, スキャナー	コピー
	01	画質自動調整動作実行	自動画質調整を実行したいときに[On]に設定します。	Off, On	Off
	02	トナー手動補給	トナーを手動で補給できます。 印刷時の濃度を濃くしたいときに[On]に設定します。	Off, On	Off
	03	ソートメモリー使用状況表示	ソート用内部メモリーの使用状況(%)を表示したいときに[あり]に設定します。	なし , あり	なし
	04	部門カウンターカウント値	部門別のカウント枚数、制限枚数、全部門のカウント枚数を確認したいときに設定します。 ● 「設定例 ： 部門カウンターカウント値」(p.29)を参照してください。	●この項目を使用する場合は、サービス設定が必要です。サービス実施会社にご相談ください。	
5-9	05	手動STRクリーニング	手動で搬送ローラーをクリーニングしたいときに[On]に設定します。	Off, On	Off
	09	キーオペレーター専用	キーオペレーターのパスワードを入力すると、キーオペレーター専用メニューに移行します。 「キーオペレーター」(p.15)を参照してください。	――	0000

■キーオペレーター

タブ／No.		項目	説明	選択肢	初期値
0-19	00	共通機能設定印刷	共通機能設定リストを印刷します。	中止，開始	開始
	01	用紙サイズ設定	給紙カセット１～４の用紙サイズを設定します。 ＜手順＞ 1. 設定したい給紙カセットを選択する 2. ［変更］を押す 3. 用紙サイズを選択する 4. 用紙の種別を設定する場合は、［用紙種別変更］を押して、用紙の種別を設定する 5. ［OK］を押す	＜サイズ変更＞ A3，B4，A4，A4，B5，B5，A5，11x17，Legal，8.5x11，8.5x11，5.5x8.5，8x13，8.5x13 ●給紙カセット１に設定できるサイズは、A4，B5，8.5x11だけです。 ＜用紙種別変更＞ 普通紙，上質紙，再生紙，普通紙ウラ	
	02	手差し A4R/A5 デフォルト選択	手差しトレイを使って給紙する用紙の最小サイズを設定します。	A4R, A5	A4R
	04	自動選択禁止段 1	自動選択の対象から除外する給紙カセットを設定できます。 （例） 給紙カセット 1 にカラー紙をセットしているので、給紙カセット1を自動選択の対象から除外したい場合は、［カセット 1］を選択 ●自動選択の対象から除外する給紙カセットは、4 つまで設定できます。	なし，カセット 1, カセット 2, カセット 3, カセット 4, 手差し	なし
	05	自動選択禁止段 2			なし
	06	自動選択禁止段 3			なし
	07	自動選択禁止段 4			なし
	09	紙なし時自動回転機能	選択した給紙カセットに用紙がセットされていない場合に、画像を自動的に回転し、ほかの給紙カセットの用紙で印刷するかどうかを設定します。 （例） A4 縦サイズの用紙がない場合に、A4 横サイズに印刷したいときは、［する］を選択	しない，する	しない
	10	コピー排出口デフォルト	コピーした用紙の排出先を設定します。 ●オプションの搬送ユニットを装着していない場合は［インナー］を選択してください。	インナー, アウター	インナー
	11	プリンター排出口デフォルト	プリントした用紙の排出先を設定します。 ●オプションの搬送ユニットを装着していない場合は［インナー］を選択してください。	インナー, アウター	インナー
	12	ファクス/E メール排出口デフォルト	ファクスや E メールで排出する用紙の排出先を設定します。 ●オプションの搬送ユニットを装着していない場合は［インナー］を選択してください。	インナー, アウター	インナー

■キーオペレーター

タブ／ No.		項目	説明	選択肢	初期値
0-19	13	オートクリアタイム	設定を自動的にリセットするまでの時間を変更します。ここで設定した時間内に操作をしないと、初期状態に戻ります。 ●オートクリアタイムについては『取扱説明書(基本編)』の「ご使用の前に」を参照してください。	なし , 30 秒 , 1 分 , 2 分 , 3 分 , 4 分	1 分
	14	節電モードタイマー	節電モードに自動的に移行するまでの時間を設定します。ここで設定した時間内に操作をしないと、節電モードに移行します。 ●節電モードについては『取扱説明書(基本編)』の「ご使用の前に」を参照してください。	1 ～ 240(分)	15(分)
	15	スリープタイマー	スリープモードに切り替えるかどうか、および切り替えまでの時間を設定します。 ここで設定した時間内に操作をしないと、スリープモードに移行します。 ●スリープモードは、節電モードより、さらに電力が低い状態です。スリープモードについては、『取扱説明書(基本編)』の「ご使用の前に」を参照してください。	なし , 1 ～ 240(分)	22(分)
	17	言語切り替え機能	ディスプレイに表示される言語を確認します(設定はできません)。	日本語	日本語
	18	パネル音の設定	タッチパネルディスプレイを押したときに、確認音を鳴らすかどうか、および音量の大小を設定します。	なし , 音量小 , 音量大	音量小
	19	原稿セット音の設定	原稿台ガラスに原稿をセットしたときに、確認音を鳴らすかどうかを設定します。 ●音量は[18 パネル音の設定]で変更できます。[18 パネル音の設定]が[なし]の場合は、原稿セット音は鳴りません。	なし , あり	なし
20-39	20	ADF セット音の設定	ADF 原稿をセットしたときに、確認音を鳴らすかどうかを設定します。 ●音量は[18 パネル音の設定]で変更できます。[18 パネル音の設定]が[なし]の場合は、原稿セット音は鳴りません。	なし , あり	あり
	21	部門カウンター管理	部門別カウンター機能です。 ● 「設定例 : 部門カウンター管理」(p.22)を参照してください。	●この項目を使用する場合は、サービス設定が必要です。サービス実施会社にご相談ください。	
	22	日付時刻の設定	日付と時刻を設定します。	年 , 月 , 日 , 時刻	―
	23	ウイークリータイマー	スリープモードへの自動切り替えを、曜日ごとに設定できます。 曜日のボタンを選択してから、操作パネルのテンキーで時間を入力します。	曜日と時間を設定	なし

■キーオペレーター

タブ／No.		項目	説明	選択肢	初期値
20-39	*25	DHCP 機能	ご使用のネットワーク環境が DHCP サーバーを使用している場合に、[あり]に設定します。 ●本機をネットワーク共有プリンターとして使う場合は、[なし]に設定し、[26 TCP/IP IP アドレス]、[27 TCP/IP サブネットマスク]、[28 TCP/IP ゲートウェイアドレス]をそれぞれ設定してください。	なし , あり	あり
	*26	TCP/IP IP アドレス	本機をネットワーク共有プリンターとして使う場合に、IP アドレスを設定します。	3 桁× 4	0. 0. 0. 0
	*27	TCP/IP サブネットマスク	本機をネットワーク共有プリンターとして使う場合に、サブネットマスクを設定します。	3 桁× 4	0. 0. 0. 0
	*28	TCP/IP ゲートウェイアドレス	本機をネットワーク共有プリンターとして使う場合に、ゲートウェイアドレスを設定します。	3 桁× 4	0. 0. 0. 0
	*29	DNS サーバーアドレス	DNS サーバーアドレスを設定します。 ●この項目は、オプションのインターネット FAX/E メール装着時に表示されます。	なし , あり	あり
	30	MAC アドレス表示	MAC アドレス (Ethernet アドレス) を確認できます。 ●MAC アドレスは自動的に表示されます。(設定はできません)	―	
	31	ドキュメント配信機能	ドキュメント配信機能の有効 / 無効を設定します。 ●この項目は、オプションのソフトウェア (パナソニックドキュメント配信システム)がインストールされている場合に表示されます。	なし , あり	なし
	32	ドキュメント配信サーバー名	[29 DNS サーバーアドレス]が[あり]、および[31 ドキュメント配信機能]が[あり]に設定されている場合に、ドキュメント配信サーバー名を設定します。 ●この項目は、オプションのソフトウェア (パナソニックドキュメント配信システム)がインストールされている場合に表示されます。	60 文字まで	―
	33	ドキュメント配信サーバー IP アドレス	[29 DNS サーバーアドレス]が[なし]、および[31 ドキュメント配信機能]が[あり]に設定されている場合に、ドキュメント配信サーバー の IP アドレスを設定します。 ●この項目は、オプションのソフトウェア (パナソニックドキュメント配信システム)がインストールされている場合に表示されます。	3 桁× 4	0. 0. 0. 0.

* No.25 ～ 29
設定後、電源の切 / 入が必要です。

■キーオペレーター

タブ／	No.	項目	説明	選択肢	初期値
20-39	34	ハードディスクイニシャライズ	ハードディスクを初期化する場合に、フォーマットするか、データを削除するかを設定します。 ●この設定は、オプションのハードディスクユニット 装着時に表示されます。	フォーマット (中止 , 開始) データ削除 (中止 , レベル 1, レベル 2)	フォーマット (中止)
	35	ハードディスクエラーチェック	ハードディスクのエラーチェックをする場合に、[開始]を選択して実行します。 ●この設定は、オプションのハードディスクユニット 装着時に表示されます。	中止 , 開始	開始
	36	自動登録時のグループ ID	アドレス帳(ネットワークスキャナー機能使用時)をオプションのソフトウェア(Panasonic Document Management System)を使用してパソコンから自動登録する場合のグループ ID を設定します。	0 ～ 99	0
	37	オートリセットタイム予告表示	オートリセットタイムの予告表示の有無を設定します。 ●[あり]に設定すると、[13 オートクリアタイム]で設定した時間の２０秒前にオートクリアを確認する画面が表示されます。	なし , あり	あり
	38	給紙口選択優先(白黒)	白黒印刷時の給紙カセット の優先順を設定します。 S: 給紙カセット 3-4 C: 給紙カセット 1-2 B: 手差し	S>C>B, C>S>B	C>S>B
	39	給紙口選択優先(カラー)	カラー印刷時の給紙カセット の優先順を設定します。 S: 給紙カセット 3-4 C: 給紙カセット 1-2 B: 手差し	S>C>B, C>S>B	C>S>B
40-59	40	中とじ折位置(A3/LDR)	A3/Ledgerサイズの、中とじ折りの位置を設定します。 A3/Ledger(11" × 17")	-4.0 ～ +4.0 mm	0.0 (mm)
	41	中とじ折位置(B4)	B4 サイズの、中とじ折りの位置を設定します。 B4	-4.0 ～ +4.0 mm	0.0 (mm)

■キーオペレーター

タブ／No.		項目	説明	選択肢	初期値
40-59	42	中とじ折位置 (A4R/LTR-R)	A4R/Letter-R サイズの、中とじ折りの位置を設定します。 A4R/Letter - R(8.5" × 11")	-4.0 ～ +4.0 mm	0.0 (mm)
	44	ハードディスクデータ消去レベル	ハードディスク内のコピー/プリントデータの消去レベルを設定します。 ●この設定は、オプションのハードディスクユニット 装着時に表示されます。 ●コピーやプリントのデータは、コピーやプリントが完了すると自動的に消去されます。 ●データ消去レベルが高いほど、データの消去に時間がかかります。	標準 , レベル 1, レベル 2	標準
	*45	WINS サーバー 1 IP	WINS サーバー 1 の IP アドレスを設定します。	3 桁× 4	0. 0. 0. 0.
	*46	WINS サーバー 2 IP	WINS サーバー 2 の IP アドレスを設定します。	3 桁× 4	0. 0. 0. 0.
	*47	スコープ ID	スコープ ID を設定します。	223文字まで	
	*48	IP フィルター	IP フィルターの有無を設定します。	なし , あり	なし
	*49	IPフィルターモード	IP フィルターモードの許可 / 禁止を設定します。	許可 , 禁止	許可
	*50	IPフィルターアドレス	IP フィルターのアドレスを設定します。 IPフィルターのアドレスは4つまで設定できます。 開始アドレスと終了アドレスの両方にIPアドレスを入力してください。	3 桁× 4	0. 0. 0. 0.
	*51	コミュニティーネーム 1	読み取り専用の SNMP コミュニティー名を設定できます。	15 文字まで	
	*52	コミュニティーネーム 2	読み取り / 書き込み可能な SNMP コミュニティー名を設定できます。	15 文字まで	
	*54	システム管理者情報	システム管理者の名前を設定します。	31 文字まで	

* No. 45 ～ 54
設定後、電源の切 / 入が必要です。

■キーオペレーター

タブ／No.		項目	説明	選択肢	初期値
40-59	＊55	システム名 (デバイスネーム)	オプションのソフトウェア(Device Monitor機能)で、本機のデバイス名情報が必要な場合に設定します。	31 文字まで	Panasonic DP-C262/ C262F/ C322/ C322F
	＊56	ロケーション	オプションのソフトウェア(Device Monitor機能)で、本機の設置場所情報が必要な場合に設定します。	31 文字まで	
	＊59	SMB	Microsoft Network (SMB) を使う場合に、[あり]に設定します。	なし , あり	なし
60-79	＊60	SMB Master Browse	Master Browse (SMB) を使う場合に、[あり]に設定します。	なし , あり	なし
	＊61	SMB デバイス名	SMB のデバイス名を設定します。	15 文字まで	
	＊62	SMB ワークグループ名	SMB のワークグループ名を設定します。	15 文字まで	
	＊63	SMB コメント	SMB のコメントを設定します。	48 文字まで	
	＊64	Bonjour	Bonjour の有効 / 無効を設定します。 ●この設定は、プリンターコントローラーユニット(Adobe®PostScript®3™用)装着時に表示されます。	なし , あり	なし
	＊65	Bonjour 名	Bonjour 名を設定します。 ●この設定は、プリンターコントローラーユニット(Adobe®PostScript®3™用)装着時に表示されます。	31 文字まで	
	＊66	IPv6	IPv6 を使う場合に、[あり]に設定します。	なし , あり	なし
	69	簡単モード	簡単モードの有効 / 無効を設定します。 ●この項目は、音声ガイド付きモデル(DP-C322F)にだけ表示されます。	なし , あり	あり
	70	自動階調補正	カラー画像の色調に異常がある場合に、自動的に階調を補正できます。 <手順> 1. [開始]を選択し、[OK]を押す 測定用紙が 2 枚印刷されます。 2. 測定用紙(No.1)を原稿台ガラスにセットし、[OK]を押す 3. 測定用紙(No.2)を原稿台ガラスにセットし、[OK]を押す	中止 , 開始	中止
	71	階調補正リセット	階調補正をリセットします。 [70 自動階調補正]を実行しても、カラー画像の色調が正常にならない場合に実行します。	中止 , 開始	中止

＊ No. 55 ～ 66
設定後、電源の切 / 入が必要です。

■キーオペレーター

タブ／ No.		項目	説明	選択肢	初期値
60-79	73	ユーザー認証管理者名	ユーザー認証管理者名を設定します。	40 文字まで	
	74	認証方式	ログイン表示の認証方式を設定します。 ●この項目は、[75 ユーザー認証機能]を[あり]に設定すると表示されます。	NTLM, 平文	NTLM
	75	ユーザー認証機能	ユーザー認証機能を設定します。 機能を選択し、[あり]または[なし]を設定します。	コピー, ファクス , プリンター, スキャナー (なし , あり)	
	76	ログイン表示	ログイン表示を設定します。 ●この項目は、[75 ユーザー認証機能]を[あり]に設定すると表示されます。	オートリセット, 即時表示	オートリセット
	77	ログイン試行回数	ログイン試行回数を設定します。 ●この項目は、[75 ユーザー認証機能]を[あり]に設定すると表示されます。	0 ～ 9(回)	0(回)
	78	ユーザー認証ドメイン	ユーザー認証のドメインを設定します。	No.00 ～ 09	
	79	使用制限時間	ログイン表示の使用制限時間を設定します。 ●この項目は、[75 ユーザー認証機能]を[あり]に設定すると表示されます。	1 ～ 60(分)	5(分)

設定例：部門カウンター管理

部門カウンター管理で各部門の暗証番号 (部門コード)を登録しておくと、コピー/ プリント / スキャン枚数を部門単位で管理できます。管理できる部門数は、最大 1000 部門です。

ここでは、各部門の暗証番号 (部門コード)を登録 / 変更する操作、トータルカウントをクリアする操作、部門別カウンター一覧などの各種リスト / レポートを印刷する操作、部門ごとのカウント値を変更する操作、部門ごとの制限枚数を変更する操作について説明します。

お知らせ

- 部門カウンター管理を使用するには、別途サービス設定が必要です。サービス実施会社へご依頼ください。
- 部門カウンター機能が設定されているときは、タッチパネルディスプレイ上に暗証番号(部門コード)の入力画面が表示されます。部門に設定された暗証番号を入力しないと、コピー/ ファクス / スキャナーなどの操作ができません。

1. <ファンクション>を押す

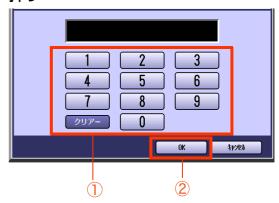
- タッチパネルディスプレイには、下記の暗証番号入力の画面が表示されていますが、ここでは何も入力しないで、操作パネルの**<ファンクション>**を押します。

2. [共通機能設定]を押す

3. [5-9]を押す

4. [09 キーオペレーター専用]を押す

5. パスワード (4 桁) を入力し、[OK]を押す

① ②

6. [20-39]を押す

7. [21 部門カウンター管理]を押す

部門カウンター管理画面が表示されます。

以降は、それぞれの説明を参照してください。

❑ 暗証番号(部門コード)を登録/変更する

各部門の暗証番号(部門コード)を登録/変更する操作です。

「暗証番号(部門コード)を登録/変更する」(p.24)を参照してください。

❑ トータルカウント値をクリアする

部門全体の総カウント値をクリアする操作です。

「トータルカウント値をクリアする」(p.25)を参照してください。

❑ 部門別の各種リストやレポートを印刷する

部門別カウンター一覧、ユーザー設定リスト、ユーザー別管理設定レポートを印刷する操作です。

「部門別の各種リストやレポートを印刷する」(p.26)を参照してください。

❑ 部門別にカウント値を変更する

部門のカウント値を変更する操作です。

「部門別のカウント値を変更する」(p.26)を参照してください。

❑ 部門別に制限枚数を変更する

部門別に、制限枚数を設定する操作です。

「部門別の制限枚数を変更する」(p.28)を参照してください。

❑ 暗証番号(部門コード)を登録 / 変更する

1. [暗証番号] を押す

2. 登録 / 変更したい部門番号を選択し、[入力] を押す

3. 暗証番号(8 桁まで)をテンキーで入力し、[OK] を押す

4. 部門名(全角12文字まで)を入力し、[OK] を押す

5. [OK] を押す

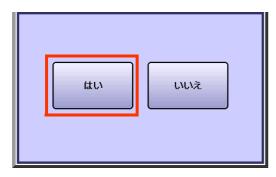
6. [閉じる] を押す

● 設定が終了したら、**<リセット>**を押します。ファンクション設定をする前の機能の画面に戻ります。

❑ トータルカウント値をクリアする

1. トータルカウント値が表示されていない場合は、[トータルカウント値]を押す

2. [クリアー]を押す

3. [はい]を押し、カウント値をクリアする

4. [OK]を押す

5. [閉じる]を押す

- 設定が終了したら、**<リセット>**を押します。ファンクション設定をする前の機能の画面に戻ります。

❏ 部門別の各種リストやレポートを印刷する

1. [リストプリント]を押す

2. 印刷したいリスト/レポートを選択し、[OK]を押す

- リスト / レポートの印刷が開始されます。

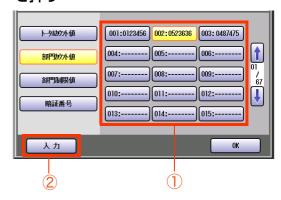
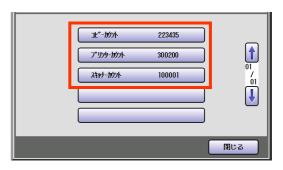
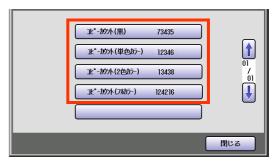
3. 印刷が終了したら、[OK]を押す

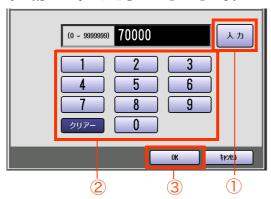
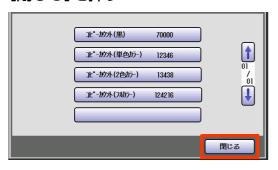
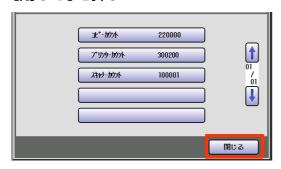
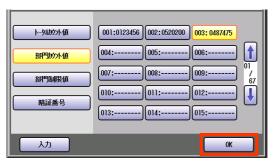
4. [閉じる]を押す

- 設定が終了したら、**<リセット>**を押します。ファンクション設定をする前の機能の画面に戻ります。

❏ 部門別のカウント値を変更する

1. [部門カウント値]を押す

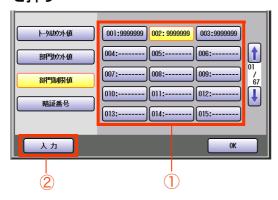
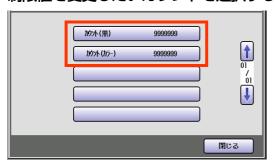
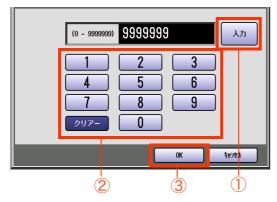
2. 変更したい部門番号を選択し、[入力]を押す

3. 変更したいカウントを選択する

4. 変更したい色を選択する

- 手順３で[スキャナーカウント]を選択した場合、色を選択する画面は表示されません。

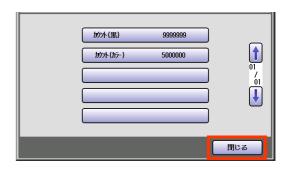
5. [入力]を押し、テンキーでカウント値（7 桁まで）を入力して[OK]を押す

6. [閉じる]を押す

7. [閉じる]を押す

8. [OK]を押す

9. [閉じる]を押す

- 設定が終了したら、**<リセット>**を押します。ファンクション設定をする前の機能の画面に戻ります。

❏ 部門別の制限枚数を変更する

1. [部門制限値]を押す

2. 変更したい部門番号を選択し、[入力]を押す

3. 制限値を変更したいカウントを選択する

4. [入力]を押し、テンキーで新しい制限値(7桁まで)を入力して[OK]を押す

- “9999999”を入力すると、印刷制限枚数は無制限になります。
- 設定した制限枚数を超えると、機械が自動的に停止します。

5. [閉じる]を押す

6. [OK]を押す

7. [閉じる]を押す

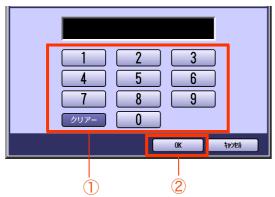
- 設定が終了したら、**<リセット>**を押します。ファンクション設定をする前の機能の画面に戻ります。

設定例：部門カウンターカウント値

部門カウンター管理が設定されている場合は、部門別にカウンターを確認できます。

お知らせ

- ●部門カウンター管理を使用するには、別途サービス設定が必要です。サービス実施会社へご依頼ください。
- ●部門カウンター管理の設定については、「設定例：部門カウンター管理」(p.22)を参照してください。
- ●部門カウンター機能が設定されているときは、タッチパネルディスプレイ上に暗証番号(部門コード)の入力画面が表示されます。部門に設定された暗証番号を入力しないと、コピーやスキャナーなどの操作ができません。

1. 確認したい部門の暗証番号(部門コード)を入力し、[OK]を押す

2. <ファンクション>を押す

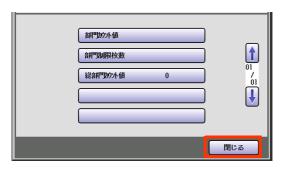
3. [共通機能設定]を押す

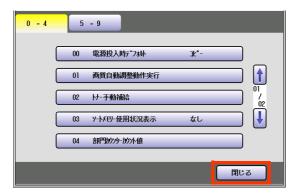
4. [04 部門カウンターカウント値]を押す

5. 確認したいカウント値を選択する

- 総部門カウント値は、ボタン上にカウント値が表示されています。ボタンの選択はできません。

6. カウント値や制限枚数の確認が終了したら、[閉じる]を押す

＜次ページへ続く＞

7. [閉じる]を押す

8. [閉じる]を押す

- 設定が終了したら、**<リセット>**を押します。ファンクション設定をする前の機能の画面に戻ります。

3章
コピー機能設定

この章では、[コピー機能設定]の項目について説明しています。
コピー機能設定では、コピーの使用用形態に合わせ、より便利に操作できるように設定を変更できます。

コピー機能設定

コピー機能設定では、コピー機能の有効 / 無効や、選択肢の初期値などを設定します。
コピー機能設定の項目は次のとおりです。

■一般ユーザー

タブ／No.		項目	説明	選択肢	初期値
0-4	00	とじ代デフォルト値	とじ代幅の初期値を設定します。	5mm, 10mm, 15mm, 20mm	10mm
	01	エッジデフォルト値	原稿をコピーするとき周囲に付ける余白(エッジ幅)の初期値を設定します。	5mm, 10mm, 15mm, 20mm	5mm
	02	ブックデフォルト値	本などをコピーするとき中央に付ける余白(ブックの中抜き幅)の初期値を設定します。	15mm, 20mm, 25mm, 30mm	20mm
	03	とじ代縮小	とじ代をつけてコピーする場合に、コピー画像を縮小するかどうかを設定します。 ・なし コピー画像は縮小されません。とじ代の幅が広い場合は、端の部分が切れることがあります。 ・あり とじ代幅に合わせて、コピー画像が用紙内に収まるサイズに縮小されます。	なし , あり	なし
	04	両面デフォルトモード	両面コピーの初期値を設定します。 ･非選択 ： 片面コピー ･1→2 ： 片面原稿を両面コピー ･2→2 ： 両面原稿を両面コピー ･B →2 ： ブック原稿を両面コピー	非選択 , 1→2, 2→2, B→2	非選択

■一般ユーザー

タブ／No.		項目	説明	選択肢	初期値
5-9	05	Nイン1 デフォルトモード	N イン 1(複数ページの原稿を 1 枚の用紙にまとめてコピーする機能)の初期値を設定します。	2 イン 1, 4 イン 1, 8 イン 1	2 イン 1
	06	Nイン 1 時余白の有無	N イン 1 コピー時の、画像間の余白の有無を設定します。 ・なし 余白は付けられません。 1 2 ・あり 余白が付けられます。 1 2 余白	なし , あり	なし
	07	ブックレット時のデフォルト倍率	ブックレットコピー(複数ページの原稿を本のような形式で両面コピーする機能)時の倍率を設定します。 ・等倍 A4 サイズの原稿が A3 サイズの用紙に等倍でコピーされます。 A3 A4 A4 1 2 ・縮小 A4 サイズの原稿が A5 サイズに縮小され、A4 サイズの用紙にコピーされます。 A4 A5 A5 1 2	等倍 , 縮小	等倍
	08	スカイショットモード切り替え	スカイショットモード(ADFを開けたままコピーする機能)の設定を切り替えます。 ● 「設定例 : スカイショットモード切り替え」(p.40)を参照してください。	なし , 逐次 , ページ	逐次

■一般ユーザー

タブ／No.		項目	説明	選択肢	初期値
5-9	09	伝票モード切り替え	伝票モード(ジョブメモリーにあらかじめ登録されているサイズで原稿を読み取る機能)の設定を切り替えます。 ● 「設定例：伝票モード切り替え」(p.42)を参照してください。	Off, M1,On, M2,On, M1,M2,On	Off
10-14	10	地色検出モード	地色検出モード(原稿の背景色を判別する機能)を設定します。 ・先端判別 地色を原稿の先端で判別します。 ・エリア判別 地色を原稿全体で判別します。	先端判別，エリア判別	先端判別
	11	ADFコピー仕上げデフォルトモード	ADF を使ってコピーする場合の仕上げの初期値を設定します。 ・ノンソート ページごとに排出されます。 ・ソート 一部ごとに排出されます。 ・シフトソート 一部ごとに位置をずらして排出されます。 ・ソート /Stpl 一部ごとにステープルでとめて排出されます。 ・シフトスタック ページごとに位置をずらして排出されます。	ノンソート， ソート，シフトソート， ソート /Stpl, シフトスタック	ソート
	12	FB コピー仕上げデフォルトモード	原稿台ガラスを使ってコピーする場合の仕上げの初期値を設定します。 ・ノンソート ページごとに排出されます。 ・ソート 一部ごとに排出されます。 ・シフトソート 一部ごとに位置をずらして排出されます。 ・ソート /Stpl 一部ごとにステープルでとめて排出されます。 ・シフトスタック ページごとに位置をずらして排出されます。	ノンソート， ソート，シフトソート， ソート /Stpl, シフトスタック	ノンソート
	13	スタンプ印字デフォルトモード	スタンプ印字(ページ番号、日付、管理番号、文字をつけてコピーする機能)の初期値を設定します。	ページ付，日付印字，管理ナンバ，テキスト	ページ付
	14	ページ印字形式	スタンプ印字の設定を[ページ付]にした場合に、ページ印字(ページ番号をつけてコピーする機能)の形式を設定します。 ・-n- ページ番号が印字されます。 ・n/m 総ページ数とページ番号が印字されます。	-n-, n/m	-n-

■一般ユーザー

タブ／No.		項目	説明	選択肢	初期値
15-19	15	イメージリピート時のミシン目	イメージリピートコピー(原稿の画像を 1 枚の用紙に繰り返してコピーする機能)時に、コピーイメージ間に、ミシン目を印刷するかどうかを設定します。 ・なし ミシン目は印刷されません。 ・あり ミシン目が印刷されます。 ミシン目	なし , あり	あり
	16	ステープル位置	ステープル位置の初期値を設定します。	左上 , 右上 , 左中央 , 上中央 , 右中央	左上
	17	パンチ有無デフォルト	パンチの有無の初期値を設定します。	なし , あり	なし
	18	ダブルスカイショット	ダブルスカイショット(両面原稿を片面 1 枚にまとめてコピーする機能)の有効/無効を設定します。	なし , あり	あり
20-24	20	ユーザー登録色の設定	シアン , マゼンタ , イエローを混合して、ユーザー登録色を設定できます。		
	21	ユーザー登録色の変更	[20 ユーザー登録色の設定] で設定した登録色を変更できます。		
	22	ユーザー登録色の削除	[20 ユーザー登録色の設定] で設定した登録色を削除できます。		
	24	キーオペレーター専用	キーオペレーターのパスワードを入力すると、キーオペレーター専用メニューに移行します。 「キーオペレーター」(p.36)を参照してください。		0000

■キーオペレーター

タブ／ No.		項目	説明	選択肢	初期値
0-9	00	コピー機能設定印刷	コピー機能設定リストを印刷します。	中止 , 開始	開始
	01	用紙サイズ優先	優先的に使用する用紙のサイズを設定します。	A3 , B4 , A4, A4 , B5, B5 , A5 , 11x17 , Legal , 8.5x11, 8.5x11 , 5.5x8.5 , 8x13 , 8.5x13 ,	A4
	02	画質デフォルト	画質の初期値を設定します。 ・文字　：文字 1(印刷文字) 文字 2(鉛筆文字) ・文 / 写：文 / 写 1(印刷写真) 文 / 写 2(印画紙写真) 文 / 写 3(コピー原稿) ・写真　：写真 1(印刷写真) 写真 2(印画紙写真) 写真 3(コピー原稿) ・その他：その他 1(地図) その他2(トレーシングペーパー) その他 3(新聞)	文字1, 文字2, 文/写1, 文 / 写 2, 文 / 写 3, 写真 1, 写真 2, 写真 3, その他 1, その他 2, その他 3	文 / 写 1
	03	カラーモードデフォルト	カラーモードの初期値を設定します。	自動 , 白黒 , フルカラー, 2 色カラー, 単色カラー	自動
	04	濃度デフォルト(文字)	画質が[文字 1], または[文字 2]の場合の、濃度の初期値を設定します。	-3 ～ +3	0
	05	濃度デフォルト(文字写真)	画質が[文 / 写 1]、[文 / 写2]、または[文 / 写3]の場合の、濃度の初期値を設定します。	-3 ～ +3	0
	06	濃度デフォルト(写真)	画質が[写真 1]、[写真 2]、または[写真 3]の場合の、濃度の初期値を設定します。	-3 ～ +3	0
	07	濃度デフォルト(その他)	画質が[その他 1]、[その他 2]、または[その他 3]の場合の、濃度の初期値を設定します。	-3 ～ +3	0
	08	濃度デフォルト合成	合成コピー時の濃度の初期値を設定します。	-3 ～ +3	0
	09	地色除去デフォルト	地色除去の初期値を設定します。	オフ , 1 ～ 6	(レベル)3
10-19	10	裏写り防止デフォルト	裏写り防止の初期値を設定します。	オフ , 1 ～ 6	オフ(しない)
	11	コントラストデフォルト	コントラストの初期値を設定します。	-3 ～ +3	0
	12	シャープネスデフォルト	画像のシャープさの初期値を設定します。	-3 ～ +3	0
	13	彩度デフォルト	彩度の初期値を設定します。	-3 ～ +3	0

■キーオペレーター

タブ／No.		項目	説明	選択肢	初期値
10-19	14	赤み青み強調デフォルト	赤み青みの初期値を設定します。	-3 ～ +3	0
	15	カラーバランス	シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの、高濃度、中濃度、低濃度のレベルの初期値を設定します。	-3 ～ +3	0
20-29	21	合紙デフォルト	合紙(指定したページに別の用紙を挿入してコピーする機能)の初期値を設定します。 ・無地 合紙に原稿は印刷されません。 ・コピー 合紙にも原稿が印刷されます。	無地 , コピー	無地
	22	表紙デフォルト	表紙(表紙に別の用紙を設定してコピーする機能)の初期値を設定します。 ・表無地 表紙(白紙)がつきます。 ・表コピー 原稿が印刷された表紙がつきます。 ・表裏無地 表紙(白紙)と裏表紙(白紙)がつきます。 ・表裏コピー 原稿が印刷された表紙と裏表紙がつきます。	表無地 , 表コピー, 表裏無地 , 表裏コピー	表無地
	23	SADF 機能	SADF 機能(ADF を使って厚さが薄い原稿をコピーする機能)の有無を設定します。	機能なし , 機能あり	機能あり
	24	設定枚数上限値制限	コピー部数の上限を設定します。	0 ～ 99 (0 : 無制限)	0
	25	伝票サイズ M1	伝票モード(ジョブメモリーにあらかじめ登録されているサイズで原稿を読み取る機能)用に、[ジョブメモリー]の[M1]ボタンに登録する原稿のサイズを設定します。	X: 5 ～ 432mm Y: 5 ～ 297mm	120,220 (mm)
	26	伝票サイズ M2	伝票モード(ジョブメモリーにあらかじめ登録されているサイズで原稿を読み取る機能)用に、[ジョブメモリー]の[M2]ボタンに登録する原稿のサイズを設定します。	X: 5 ～ 432mm Y: 5 ～ 297mm	150,230 (mm)
	27	メモリーフル時の電子ソート継続	メモリーフル時の、電子ソートの継続を設定します。 ・印刷 読み取った原稿までがコピーされます。 ・中断 読み取った原稿は削除されます。	印刷 , 中断	印刷

■キーオペレーター

タブ／ No.		項目	説明	選択肢	初期値
20-29	28	単色カラー1 色指定	単色カラーの初期値を設定します。	赤 , 緑 , 青 , イエロー, マゼンタ , シアン , 登録色 1 ～ 6	赤
	29	2 色カラーカラー部分の色指定	2 色カラーのカラー指定部分の初期値を設定します。	赤 , 緑 , 青 , イエロー, マゼンタ , シアン , 登録色 1 ～ 6	赤
30-39	30	合成コピー時の色指定	合成コピー時の色の初期値を設定します。	フルカラー, 赤, 緑, 青 , イエロー, マゼンタ , シアン , 黒 , 白 , 登録色 1 ～ 6	フルカラー
	31	白黒カラー判別レベル	カラーモードが[自動]のときの、カラー原稿のカラー判別レベルを設定します。 数値が小さいほど、カラー原稿を白黒原稿として判別しやすくなります。 数値が大きいほど、カラー原稿をカラー原稿として判別しやすくなります。	1 ～ 7	4
	32	カラートナーセーブモード (T)	カラーコピーで画質が[文字 1]、または[文字 2]の場合の、トナーのセーブレベルを設定します。 レベルの数値が大きいほど、トナー消費がセーブされます。	なし , レベル 1, レベル 2, レベル 3, レベル 4, レベル 5	なし
	33	カラートナーセーブモード (T/P)	カラーコピーで画質が[文 / 写 1]、[文 / 写 2]、または[文 / 写 3]の場合の、トナーのセーブレベルを設定します。 レベルの数値が大きいほど、トナー消費がセーブされます。	なし , レベル 1, レベル 2, レベル 3, レベル 4, レベル 5	なし
	34	カラートナーセーブモード (P)	カラーコピーで画質が[写真 1]、[写真 2]、または[写真 3]の場合の、トナーのセーブレベルを設定します。 レベルの数値が大きいほど、トナー消費がセーブされます。	なし , レベル 1, レベル 2, レベル 3, レベル 4, レベル 5	なし
	35	カラートナーセーブモード (Other)	カラーコピーで画質が[その他 1]、[その他 2]、または[その他 3]の場合の、トナーのセーブレベルを設定します。 レベルの数値が大きいほど、トナー消費がセーブされます。	なし , レベル 1, レベル 2, レベル 3, レベル 4, レベル 5	なし
	36	白黒トナーセーブモード (T)	白黒コピーで画質が[文字 1]、または[文字 2]の場合の、トナーのセーブレベルを設定します。 レベルの数値が大きいほど、トナー消費がセーブされます。	なし , レベル 1, レベル 2, レベル 3, レベル 4, レベル 5	なし

■キーオペレーター

タブ／No.		項目	説明	選択肢	初期値
30-39	37	白黒トナーセーブモード (T/P)	白黒コピーで画質が[文/写1]、[文/写2]、または[文/写3]の場合の、トナーのセーブレベルを設定します。 レベルの数値が大きいほど、トナー消費がセーブされます。	なし , レベル 1, レベル 2, レベル 3, レベル 4, レベル 5	なし
	38	白黒トナーセーブモード (P)	白黒コピーで画質が[写真 1]、[写真 2]、または[写真 3]の場合の、トナーのセーブレベルを設定します。 レベルの数値が大きいほど、トナー消費がセーブされます。	なし , レベル 1, レベル 2, レベル 3, レベル 4, レベル 5	なし
	39	白黒トナーセーブモード (Other)	白黒コピーで画質が[その他 1]、[その他 2]、または[その他 3]の場合の、トナーのセーブレベルを設定します。 レベルの数値が大きいほど、トナー消費がセーブされます。	なし , レベル 1, レベル 2, レベル 3, レベル 4, レベル 5	なし
40-44	40	コピー機能カスタマイズ	[詳細設定]の機能のうち、よく使う機能のボタンだけを画面に表示させることができます。		

設定例：スカイショットモード切り替え

スカイショットとは、ADF を開けたままコピーしてもコピーの周囲が黒く汚れない機能です。

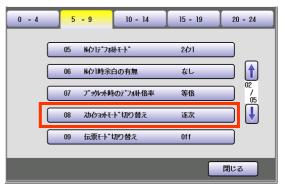
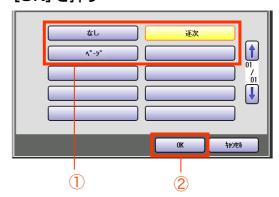
●両面、または[N イン 1]を使ってコピーする場合、スカイショットモードは[逐次]に設定してください。

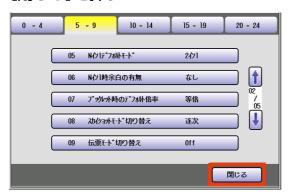
●スカイショットモードのコピー方法については、『取扱説明書（コピー編）』の「４章　その他のコピー」を参照してください。

1. <ファンクション>を押す

2. [コピー機能設定]を押す

3. [5-9]を押す

4. [08 スカイショットモード切り替え]を押す

5. スカイショットモードを選択し、[OK]を押す

なし	スカイショットモードは無効です。
逐次	スカイショットの範囲を検出しながらコピーします。通常はこのモードで使用します。
ページ	[逐次]よりも高精度にスカイショットでコピーできます。

6. [閉じる]を押す

- 設定が終了したら、**<リセット>**を押します。ファンクション設定をする前の機能の画面に戻ります。

設定例：伝票モード切り替え

伝票モードとは、ジョブメモリーのＭ1、またはＭ2にあらかじめ登録されているサイズで原稿を読み取る機能です。ADF を開けたままコピーしてもコピーの周囲が黒く汚れません。

お知らせ

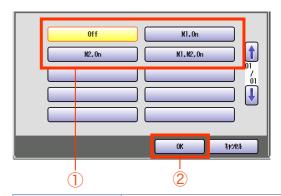
- 原稿の端に黒い線がある場合、伝票モードで正しくコピーできない場合があります。
- 伝票モードが設定されている場合、[片面 / 両面] 機能や [仕上げ] 機能は使用できません。
- 伝票モードのコピー方法については、『取扱説明書（コピー編）』の「４章　その他のコピー」を参照してください。

1. <ファンクション>を押す

2. [コピー機能設定] を押す

3. [5-9] を押す

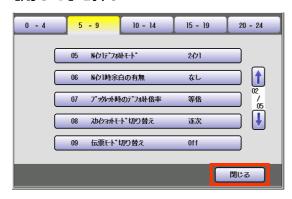
4. [09 伝票モード切り替え] を押す

5. 伝票モードを選択し、[OK] を押す

Off	伝票モードは無効です。
M1,On,	M1 サイズでコピーできます。 (初期値：120 x 220mm)
M2,On,	M2 サイズでコピーできます。 (初期値：150 x 230mm)
M1,M2,On	M1サイズ、またはM2サイズでコピーできます。

- Ｍ１サイズ、Ｍ２サイズの値を変更する場合は、「25 伝票サイズＭ１」、「26 伝票サイズＭ２」(p.37)を参照してください。

6. [閉じる]を押す

● 設定が終了したら、**<リセット>**を押します。ファンクション設定をする前の機能の画面に戻ります。

4 章
ファクス /E メール機能設定

この章では、[ファクス /E メール機能設定] の設定について説明しています。
ファクス /E メール機能設定では、スキャナーやインターネットFAX で使用する E メール機能、ファクスの自局情報、中継情報を設定します。
また、ファクスやインターネットFAX の使用形態に合わせ、より便利に操作できるように設定を変更できます。

ファクス /E メール機能設定

ファクス /E メール機能設定では、ファクス /E メール機能の初期値の設定、アドレス帳やプログラムダイヤルの登録などを行います。

お知らせ

アドレス帳やプログラムダイヤルの登録について、詳しくは、『取扱説明書(ファクス / インターネット FAX 編)』の「7 章　データを登録する」を参照してください。

■ファクス /E メール機能設定

タブ	No.	項目	説明
0-4	00	アドレス帳登録	下記の「アドレス帳登録」へ
	01	プログラムダイヤルの登録	下記の「プログラムダイヤルの登録」へ
	04	キーオペレーター専用	キーオペレーターのパスワードを入力すると、キーオペレーター専用メニューに移行します。「キーオペレーター専用」(p.46)を参照してください。

■アドレス帳登録

タブ	No.	項目	説明
0-4	00	アドレス帳リスト印刷	『取扱説明書(ファクス / インターネット FAX 編)』の「7 章　データを登録する」の「アドレス帳を登録する」を参照してください。
	01	アドレス帳登録(電話)	
	02	アドレス帳登録(E メール)	
	03	アドレス帳の変更	
	04	アドレス帳の消去	

■プログラムダイヤルの登録

タブ	No.	項目	説明
0-4	00	プログラムリスト印刷	『取扱説明書(ファクス / インターネット FAX 編)』の「7 章　データを登録する」の「プログラムダイヤルを登録する」を参照してください。
	01	グループダイヤルの登録	
	02	プログラムダイヤルの登録	
	03	グループダイヤルの変更	
	04	プログラム / グループの消去	
5-9	05	POP 手動受信登録	

■キーオペレーター専用

タブ	No.	項目	説明
0-4	00	自局情報の登録	「自局情報の登録」(p.47)を参照してください。
	01	システムの登録	「システムの登録」(p.51)を参照してください。
	02	中継情報の登録	「中継情報の登録」(p.66)を参照してください。

お知らせ

- お買い上げ時の自局情報の登録については、『取扱説明書（セットアップ編）』の「ファクスの設定」を参照してください。
- ネットワークなどの設定は、キーオペレーターまたは、ネットワークに関する十分な知識のある方が行ってください。

■自局情報の登録

タブ／No.		項目	説明	選択肢
0-19	00	自局情報リスト印刷	自局情報リストを印刷します。	中止 , 開始
	01	発信元情報の登録	発信元情報を設定します。 （例）　パナソニック ●発信元情報が登録されていない場合、発信元印字には、文字 ID が記録されます。 文字 ID も登録されていない場合は、数字 ID が記録されます。 ●発信元情報の印字位置は、[01 システムの登録]＞[07 発信元印字] で設定できます。	全角 20 文字まで
	02	文字 ID（カナ）の登録	文字 ID（カナ）を設定します。 （例）　エイギョウ	16 文字まで
	03	回線 1 数字 ID の登録	外線（回線 1）を使って通信したとき、相手のディスプレイに表示させる電話番号などの情報を登録します。 （例）　555 1211	20 桁まで
	04	定時刻タイマーの登録	タイマー通信をする場合に、初期値として表示される通信予約時刻を設定します。 ●タイマー通信については、『取扱説明書（ファクス / インターネット FAX 編）』の「3 章 便利なファクス機能」の「時刻を指定して通信する」を参照してください。	
	05	定期便タイマーの登録	定期便タイマーの時刻を 5 つまで設定します。 定期便タイマー送信をする場合、登録したタイマー時刻のうち最も近い時刻に、通信予約ファイルが送信されます。 ●「設定例：定期便タイマーの登録」（p.74）を参照してください。 ●定期便タイマー送信については、『取扱説明書（ファクス / インターネット FAX 編）』の「3 章 便利なファクス機能」の「時間を決めて通信する [定期便タイマー通信]」を参照してください。	
	06	F コードサブアドレスの登録	F コードを使って通信するときの、サブアドレスを登録します。	20 桁まで
	07	F コードパスワードの登録	F コードを使って通信するときの、パスワードを登録します。	20 桁まで

■自局情報の登録

タブ／ No.		項目	説明	選択肢
0-19	08	回線 2　数字 ID の登録	外線(回線2)を使って通信したとき、相手のディスプレイに表示させる電話番号などの情報を登録します。 (例)　555 1212 ●この項目は、オプションのG3増設ユニット装着時に表示されます。	20 桁まで
	11	ISDN　基本番号の登録	ISDN 回線の電話番号を設定します。 (例)　555 1214 ●この項目は、オプションのG4通信ユニット装着時に表示されます。	32 桁まで
	12	ISDN　ダイヤルインの登録	ISDN 回線のダイヤルインを設定します。 (例)　555 1214 ●この項目は、オプションのG4通信ユニット装着時に表示されます。	32 桁まで
	13	ISDN　数字 ID の登録	ISDN 回線の数字 ID を設定します。 (例)　555 1214 ●この項目は、オプションのG4通信ユニット装着時に表示されます。	20 桁まで
	14	ISDN　文字 ID(英字)の登録	ISDN 回線の文字 ID を設定します。 ●この項目は、オプションのG4通信ユニット装着時に表示されます。	16 文字まで
	15	自局メールアドレス	本機のメールアドレスを設定します。	60 文字まで
	16	メールサーバー名	メールサーバー(SMTP サーバー)名を設定します。 ●この項目は、[共通機能設定]＞[キーオペレーター専用]＞[29 DNS サーバーアドレス]が[あり]の場合に設定できます。	60 文字まで
	17	メールサーバーIP アドレスの登録	メールサーバー(SMTP サーバー)の IP アドレスを設定します。 ●この項目は、[共通機能設定]＞[キーオペレーター専用]＞[29 DNS サーバーアドレス]が[なし]の場合に設定できます。	3 桁 x 4
	18	SMTP 認証名	SMTP 認証名を設定します。 ●この項目は、[01　システムの登録]の[170 SMTP認証]が[あり]の場合に設定できます。	40 文字まで
	19	SMTP 認証パスワード	SMTP 認証パスワードを設定します。 ●この項目は、[01　システムの登録]の[170 SMTP認証]が[あり]の場合に設定できます。	10 文字まで
20-39	20	POP サーバー名	POP 受信サーバー名を設定します。 ●この項目は、[共通機能設定]＞[キーオペレーター専用]＞[29 DNS サーバーアドレス]が[あり]の場合に設定できます。	60 文字まで
	21	POP サーバーIP アドレスの登録	POP 受信サーバーの IP アドレスを設定します。 ●この項目は、[共通機能設定]＞[キーオペレーター専用]＞[29 DNS サーバーアドレス]が[なし]の場合に設定できます。	3 桁 x 4

■自局情報の登録

タブ／No.		項目	説明	選択肢
20-39	22	POP ユーザー名	POP ユーザー名を設定します。	40 文字まで
	23	POP パスワード	POP パスワードを設定します。	10 文字まで
	24	デフォルトサブジェクト	E メールの件名欄の初期値を設定します。	全角 20 文字まで
	25	セレクトドメイン 01	ドメインリストに表示するドメイン名を設定します。ドメイン名は 10 個まで設定できます。 メールアドレス入力時に @ の左側の部分まで入力すると、ドメインリストからここで設定したドメイン名を選択できます。 （例） @panasonic.com	30 文字まで
	26	セレクトドメイン 02		
	27	セレクトドメイン 03		
	28	セレクトドメイン 04		
	29	セレクトドメイン 05		
	30	セレクトドメイン 06		
	31	セレクトドメイン 07		
	32	セレクトドメイン 08		
	33	セレクトドメイン 09		
	34	セレクトドメイン 10		
	36	リモートパスワード	リモート登録で使用するパスワードを設定します。 ●リモート登録とは、遠隔地のコンピューターから、E メールによって、本機のインターネットパラメーターやアドレス帳などの設定を変更できる機能です。	10 文字まで
	37	管理者メールアドレス	本機の管理者のメールアドレスを設定します。 ●「設定例 : 中継局の登録 (LAN 中継同報)」(p.86)を参照してください。	60 文字まで
	38	デフォルトドメイン	メールアドレス入力時にドメイン名を省略した場合に、自動的に付加するドメイン名を設定します。 （例） @ panasonic.com	50 文字まで
40-59	40	中継用パスワード 01	LAN 中継で使用する中継パスワードを設定します。中継パスワードは、5 つまで設定できます。 ●「設定例 : 中継局の登録 (LAN 中継同報)」(p.86)を参照してください。	10 文字まで
	41	中継用パスワード 02		
	42	中継用パスワード 03		
	43	中継用パスワード 04		
	44	中継用パスワード 05		

■自局情報の登録

タブ／No.		項目	説明	選択肢
40-59	45	中継許可ドメイン名 01	LAN 中継送信を許可するドメイン名を設定します。ドメイン名は、10 個まで設定できます。 ●「設定例 : 中継局の登録 (LAN 中継同報)」(p.86)を参照してください。	30 文字まで
	46	中継許可ドメイン名 02		
	47	中継許可ドメイン名 03		
	48	中継許可ドメイン名 04		
	49	中継許可ドメイン名 05		
	50	中継許可ドメイン名 06		
	51	中継許可ドメイン名 07		
	52	中継許可ドメイン名 08		
	53	中継許可ドメイン名 09		
	54	中継許可ドメイン名 10		
	55	LDAP サーバー名	LDAP サーバー名を設定します。 ●この項目は、[共通機能設定]＞[キーオペレーター専用]＞[29 DNS サーバーアドレス]が[あり]の場合に設定できます。 ●「設定例 : LDAP サーバーの登録」(p.68)を参照してください。	60 文字まで
	56	LDAP サーバー IP	LDAP サーバーの IP アドレスを設定します。 ●この項目は、[共通機能設定]＞[キーオペレーター専用]＞[29 DNS サーバーアドレス]が[なし]の場合に設定できます。 ●「設定例 : LDAP サーバーの登録」(p.68)を参照してください。	3 桁 x 4
	57	LDAP ユーザー名	LDAP ユーザー名を設定します。 ●「設定例 : LDAP サーバーの登録」(p.68)を参照してください。	40 文字まで
	58	LDAP パスワード	LDAP パスワードを設定します。 ●「設定例 : LDAP サーバーの登録」(p.68)を参照してください。	10 文字まで
	59	LDAP Search Base	検索する LDAP データベースを設定します。 ●「設定例 : LDAP サーバーの登録」(p.68)を参照してください。	60 文字まで
60-64	60	LDAP 文字コード	検索する LDAP データベースを設定します。 ●「設定例 : LDAP サーバーの登録」(p.68)を参照してください。	UTF-8 , SJIS , EUC , JIS , ISO8859

■システムの登録

タブ／ No.		項目	説明	選択肢	初期値
0-39	00	システム登録リスト印刷	システム登録リストを印刷します。	中止 , 開始	開始
	01	濃度デフォルト	原稿の濃度の初期値を設定します。 いつも送信する原稿の濃さに合わせます。	-3 , -2 , -1 , 0 , 1 , 2 , 3	0
	02	文字サイズ	文字サイズの初期値を設定します。 いつも送信する原稿の文字の大きさに合わせます。 ●オプションの E メール装着時は初期値が[小さい]に変わります。	ふつう , 小さい , 細密	ふつう
	03	画質デフォルト	画質の初期値を設定します。 いつも送信する原稿に合わせます。	文字 , 文字写真 , 写真	文字
	04	済スタンプ	済スタンプの初期値を設定します。[あり]に設定すると、メモリー送信時 / ダイレクト送信時、どちらの場合も済スタンプが押されます。 メモリー送信時に済スタンプを押したくない場合は、[28 メモリー済スタンプ]を[なし]に設定してください。	なし , あり	あり
	05	送信メモリー優先	メモリー送信の初期値を設定します。 [なし]に設定にすると、ダイレクト送信に設定しなくても、通常の操作でダイレクト送信となります。	なし , あり	あり
	06	ダイヤル切替	お使いの電話回線に合わせて、ダイヤル種別を選びます。 ●オプションの G3 増設ユニット装着時は、最初に[回線 1]か[回線 2]を選択してください。	PB、10pps、20pps	PB
	07	発信元印字	受信側の用紙に印字される情報(日付、宛先、発信元、ページ数、受付番号)の印字位置を設定します。 発信元情報は、[自局情報の登録]の[01 発信元情報の登録]で登録してください。 ・ なし 発信元は記載されません。 ・ 原稿外 発信元が記載される部分(先端から約 10mm)に余白がない場合、原稿内容が縮小されることがあります。 ・ 原稿内 発信元が記載される部分(先端から約 10mm) の原稿内容が欠けることがあります。	なし , 原稿外 , 原稿内	原稿内

■システムの登録

タブ／ No.		項目	説明	選択肢	初期値
0-39	09	受信時刻印字	受信時刻を印刷する機能の有効 / 無効を設定します。 [あり]に設定すると、受信した時刻が用紙に印刷されます。	なし , あり	なし
	12	通信結果レポート	通信結果レポート(ダイレクト結果レポート、メモリー結果レポート)を印刷するときの条件を設定します。 ・ なし 通信結果レポートは印刷されません。 ・ 未通信 通信できなかったときだけ、通信結果レポートが印刷されます。 ・ 全通信 通信ごとに通信結果レポートが印刷されます。	ダイレクト結果レポート: なし, 未通信, 全通信 メモリー結果レポート: なし, 未通信, 全通信	未通信
	13	通信管理レポート	通信管理レポートの自動印刷の有効 / 無効を設定します。 ・ なし 自動印刷されません。通信管理レポートを見たいときは、タッチパネルディスプレイ上で確認するか、手動で印刷します。 ・ あり 200 通信ごとに自動印刷されます。 ●『取扱説明書(ファクス / インターネットFAX編)』の「8 章 レポート／リストについて」の「通信管理レポート」を参照してください。	なし , あり	あり
	14	通信受付レポート	メモリー送信を受け付けたときに、受付レポートを印刷するかどうかを設定します。 受付レポートには、受付枚数や宛先などが記載されます。	なし , あり	なし
	17	受信モード	ファクスの受信のしかたを選択します。 ・ 手動 手動受信をする場合に選択します。 ・ Fax 専用 自動受信をする場合に選択します。 ●受信方法については、『取扱説明書(ファクス / インターネット FAX 編)』の「4 章 受信について」の「受信のしかた」を参照してください。	手動 , Fax 専用	Fax 専用

■システムの登録

タブ／No.		項目	説明	選択肢	初期値
0-39	21	着信呼出回数	着信してからファクス受信を開始するまでの呼び出し音の回数を設定します。	0, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9 (回)	0(回)
	26	ポーリング用暗証番号の登録	ポーリング通信をするときに使う４桁のパスワードを設定します。		
	27	ポーリング送信保存	ポーリング送信したあと、原稿をメモリーに保存するかどうかを設定します。 ・なし ポーリング送信したあと、原稿はメモリーから消去されます。 ・あり ポーリング送信したあとも、原稿はメモリーに蓄積されます。	なし , あり	なし
	28	メモリー済スタンプ	メモリー送信時に、原稿をメモリーに蓄積した時点で済スタンプを押すかどうかを設定します。 ・なし メモリー送信時はスタンプが押されません。 ・あり メモリー送信時もスタンプが押されます。	なし , あり	あり
	31	未通信ファイル保存	エラーなどで、未通信になったファイルをメモリーに保存し、再通信するかどうかを設定します。 ・なし 未通信になったファイルは保存されません。 ・あり 未通信になったファイルがメモリーに保存され、必要に応じて、再送信できます。 ●再通信については、『取扱説明書（ファクス / インターネット FAX 編）』の「6 章 通信予約ファイルを操作する」の「通信エラー文書を再送信する［未達宛先再通信］」を参照してください。	なし , あり	なし

■システムの登録

タブ／ No.		項目	説明	選択肢	初期値
40-79	43	パスワード送信	パスワード送信で使用するパスワード(4桁)とパスワード送信の有効 / 無効を設定します。 パスワード送信とは、送信時に受信側との間でパスワード照合し、一致した場合だけ通信をする機能です。 ●「設定例 : パスワード送信 / パスワード受信」(p.76)を参照してください。	なし , あり	
	44	パスワード受信	パスワード受信で使用するパスワード(4桁)とパスワード受信の有効 / 無効を設定します。 パスワード受信とは、受信時に送信側との間でパスワード照合し、一致した場合だけ通信をする機能です。 ●「設定例 : パスワード送信 / パスワード受信」(p.76)を参照してください。	なし , あり	
	45	セレクト送信	セレクト送信の有効 / 無効を設定します。 セレクト送信とは、アドレス帳に電話番号が登録されている相手にだけ送信する機能です。	なし , あり	なし
	46	セレクト受信	セレクト受信の有効 / 無効を設定します。 セレクト受信とは、アドレス帳に電話番号が登録されている相手からのファクスだけを受信する機能です。	なし , あり	なし
	47	リモート受信	リモート受信の有効 / 無効を設定します。 リモート受信とは、外部電話から受信を指示する機能です。	なし , あり	なし
	51	遠隔診断	遠隔診断の有効 / 無効を設定します。遠隔診断とは、遠隔操作などにより、各種の診断を行う機能です。 詳しくはサービス実施会社にご連絡ください。	なし , あり	なし
	54	メモリー転送	メモリー転送の有効 / 無効を設定します。 ●「設定例 : メモリー転送の登録」(p.78)を参照してください。	なし , あり	なし

■システムの登録

タブ／ No.		項目	説明	選択肢	初期値
40-79	66	代行出力	代行出力(受信文書を印刷するサイズの用紙がない場合に、ほかの給紙トレイの用紙に印刷する機能)の有効 / 無効を設定します。	なし , あり	あり
	67	受信 2 イン 1 ／両面機能	受信文書の印刷形式を設定します。 ・ なし 原稿はそのまま 1 枚ずつ印刷されます。 ・ 2 イン 1 A5 サイズの原稿を 2 ページ受信すると、A4 サイズの用紙の片面にまとめて印刷されます。 ・ 両面 A4 サイズの原稿を 2 ページ受信すると、A4 サイズの用紙の両面に印刷されます。	なし , 2 イン 1 , 両面	2 イン 1
	68	ダイヤルトーン検知	ダイヤル送出前にダイヤルトーンの検知をするかどうかを設定します。 ● オプションの G 3増設ユニット装着時は、最初に[回線 1]か[回線 2]を選択してください。	なし , あり	あり
	71	親切受信	[17 受信モード]」が[手動]の場合の受信方法を設定します。 ・ なし スタートを押すまで受信は開始されません。 ・ あり 相手が送信のファクス(ポー‥ポー‥音)のときは、自動的に受信が開始されます。	なし , あり	なし

■システムの登録

タブ／ No.		項目	説明	選択肢	初期値
40-79	78	回転送信	回転送信の有効 / 無効を設定します。 ・なし A4 原稿を縦置きにセットすると、そのまま送信されます。受信側の設定によっては、縮小されたり、A3 サイズとして扱われることがあります。 ・あり A4 原稿を縦置きしたときも、自動的に 90°回転して、A4 横サイズとして送信されます。 ●回転送信については、『取扱説明書(ファクス / インターネット FAX 編)』の「2 章 ファクスの基本操作」の「回転送信について」を参照してください。	なし , あり	あり
80-119	82	クイックメモリー送信	クイックメモリー送信の有効 / 無効を設定します。 ・なし 原稿をすべて読み取ってから送信が開始されます。 ・あり ADF から 1 ページ目の原稿をメモリーに読み取った時点で送信が開始されます。ただし、複数宛先の場合は、クイックメモリー送信となりません。 ●クイックメモリー送信については、『取扱説明書(ファクス / インターネット FAX 編)』の「2 章 ファクスの基本操作」の「メモリーに蓄積して送信する[メモリー送信]」を参照してください。	なし , あり	あり
	83	回転ソート	回転ソートの有効 / 無効を設定します。 [あり]に設定すると、受信した原稿が 1 部ごとに、縦、横と回転してプリントされます。	なし , あり	なし
	86	呼出音量	呼び出し音の音量を設定します。 [なし]に設定すると、呼び出し音は鳴りません。	なし , 音量小 , 音量中 , 音量大	音量小
	87	モニター音量	モニター音量の初期値を設定します。音量レベルは >>> で表示されます。	0 ～ 7	4

■システムの登録

タブ／ No.		項目	説明	選択肢	初期値
80-119	88	通信モード／回線	通信モード／回線を設定します。 ●選択肢は、オプション装着などによって変わります。	自動選択, 回線 1 , 回線 2 , G 3 (I), G4, 64K ／ T70, 56K ／ T90, 56K ／ T70	自動選択
	89	レポート排紙口指定	レポートを印刷したときの排紙先を設定します。 ●オプションの搬送ユニットを装着していない場合は[インナー]を選択してください。	インナー , アウター	インナー
	99	メモリー容量	オプションの「メモリーカード」の取り付け状態を確認できます。 (標準メモリー +オプションメモリー)		
	101	マルチプリント部数	マルチプリント部数の初期値を設定します。 ●「設定例 : マルチプリント部数の登録」(p.82)を参照してください。	なし , 全受信 , アドレス帳	なし
	103	発呼宛先表示	発呼時のディスプレイ表示を設定します。 ・ 宛先名 アドレス帳に登録されている宛先名が表示されます。 ・ ダイヤル ダイヤルした番号が表示されます。	宛先名 , ダイヤル	宛先名
	104	アドレス帳ダイヤル情報	アドレス帳に特殊機能の情報(中継情報など)を登録するかどうかを設定します。 中継同報指示、中継通信の登録、LAN 中継送信、または LAN 中継指示の登録を行う場合は、[あり]に設定してください。	なし , あり	あり
	105	メモリーフル時動作	メモリーがいっぱいになった場合の動作を設定します。 ・ 中止 送信は中止されます。 ・ 実行 メモリーがいっぱいになる直前までの原稿が送信されます。	中止 , 実行	実行
	106	原稿詰まり時動作	読み取り中に原稿がつまった場合の動作を設定します。 ・ 中止 送信は中止されます。 ・ 実行 原稿づまりする直前までの原稿が送信されます。	中止 , 実行	実行
	107	代行宛先通信	代行宛先通信の有効 / 無効を設定します。	なし , あり	なし

■システムの登録

タブ／ No.		項目	説明	選択肢	初期値
80-119	108	ユーザー別管理	ユーザー別管理の有効 / 無効を設定します。	なし , あり	なし
	109	ユーザー別レポート	ユーザー別レポートを印刷する曜日や日時を設定します。 ・なし ユーザー別レポートは印刷されません。 ・曜日指定 指定した曜日にユーザー別レポートが印刷されます。 ・日時指定 指定した日時にユーザー別レポートが印刷されます。	なし , 曜日指定 , 日時指定	なし
	110	G4　F 網発信元印字	G4 の F 網発信元印字の位置を設定します。 ●オプションの G4 通信ユニット装着時に表示されます。	なし , 原稿外 , 原稿内	原稿外
	111	G4　リモート印字	G4 のリモート印字の有無を設定します。 ●オプションの G4 通信ユニット装着時に表示されます。	なし , あり	あり
	112	G4　送信発信元印字	G4 の送信発信元印字の位置を設定します。 ●オプションの G4 通信ユニット装着時に表示されます。	なし , 原稿外 , 原稿内	なし
	113	国際 ISDN	ISDN を使って海外通信をするとき[あり]に設定します。 ●オプションの G4 通信ユニット装着時に表示されます。	なし , あり	なし
	115	G4　発信者番号通知	G4 の発信者番号通知の有無を設定します。 ●オプションの G4 通信ユニット装着時に表示されます。	なし , あり	あり
	117	複数宛先指定	複数の宛先指定の有効 / 無効を設定します。 [なし]に設定すると、送信時に複数の宛先を指定することができません。	なし , あり	あり
	118	自動 Fax 切替	コピー画面で、電話番号が入力されたことを検知して、自動的にファクスモードに切り替えることができます。 検知する桁数を設定します。	なし , 4 桁 , 5 桁 , 6 桁 , 7 桁 , 8 桁	6 桁

■システムの登録

タブ／ No.		項目	説明	選択肢	初期値
120-159	123	リルート機能	リルート機能の有効 / 無効を設定します。 ●リルート機能については、『取扱説明書(ファクス/インターネット FAX 編)』の「2 章 ファクスの基本操作」の「IP 電話サービスを使う」を参照してください。	なし , あり	なし
	124	プレフィクス機能	電話番号に付与する番号を登録します。また、登録した番号を付与してダイヤルするときは[あり]に設定します。 付与する番号を指定したあと、設定を行います。 ●プレフィクス機能については、『取扱説明書(ファクス / インターネット FAX 編)』の「2 章 ファクスの基本操作」の「IP 電話サービスを使う」を参照してください。	20 桁まで (なし , あり)	なし
	125	宛先確認	宛先確認の有効 / 無効を設定します。送信を開始する前に宛先確認画面を表示するときは[あり]に設定します。 ●宛先確認については、『取扱説明書(ファクス / インターネット FAX 編)』の「2 章 ファクスの基本操作」の「宛先を確認する」を参照してください。	なし, あり	あり
	131	ジョブトラッキング機能	ジョブトラッキング機能の有効 / 無効を設定します。 ●この項目は次の3つの条件をすべて満たす場合に表示されます。 ・オプションのインターネット FAX かネットワークスキャナーが装着されている場合 ・[共通機能設定]＞[09 キーオペレーター専用]＞[75 ユーザー認証機能]の[ファクス]または[スキャナー]が[あり]の場合 ・[ファクス /E メール機能設定]＞[04 キーオペレーター専用]＞[01 システムの登録]＞[54 メモリー転送]が[なし]の場合	なし, 送信, 受信, 送信受信	なし
	134	宛先名敬称付加	宛先名に敬称をつけるかどうかを設定します。 [あり]に設定すると、受信側で印刷される文書の発信元情報の宛先に、敬称 (○○様)が付きます。	なし , あり	あり

■システムの登録

タブ／ No.		項目	説明	選択肢	初期値
120-159	140	LAN 中継送信指示	LAN 中継送信機能の有効 / 無効を設定します。 ●「設定例 : 中継送信先の登録(LAN 中継同報)」(p.84)を参照してください。	なし , あり	なし
	141	LAN 縮小送信	インターネット FAX でサイズの大きい原稿を送信する場合の縮小送信の有効 / 無効を設定します。 [あり]に設定すると、Ledger (11"x17") サイズや B4 サイズの原稿が、A4 サイズに縮小して送信されます。 ●詳しくは、『取扱説明書(ファクス / インターネット FAX 編)』の「5 章　インターネット FAX を使う」の「A3 サイズを E メールで送信する [E メール A3 送信]」を参照してください。	なし , あり	なし
	142	LAN 中継機能	LAN 中継機能の有効 / 無効を設定します。 ●「設定例 : 中継局の登録(LAN 中継同報)」(p.86)を参照してください。	なし , あり	あり
	143	LAN 中継結果返送	LAN 中継送信の結果が記載された通信結果レポートを指示局に返送するときの条件を選びます。 ・ なし 通信結果レポートは送信されません。 ・ 全通信 送信できた場合、送信できなかった場合、どちらの場合も通信結果レポートが送信されます。 ・ 異常時 送信できなかった場合にだけ、通信結果レポートが送信されます。 ●「設定例 : 中継局の登録(LAN 中継同報)」(p.86)を参照してください。	なし , 全通信 , 異常時	全通信

■システムの登録

タブ／ No.		項目	説明	選択肢	初期値
120-159	145	FROM 選択機能	FROM 選択機能(本機のメールアドレス以外のアドレスを差出人にして、E メールを送信する機能)の有効 / 無効を設定します。 ・なし From 欄の選択はできません。本機のメールアドレスが使用されます。 ・あり From 欄で発信者を選択できます。24 個のユーザー名称(全角 20 文字まで)と E メールアドレス(60 文字まで)を登録できます。 ●From 欄については、『取扱説明書(ファクス / インターネット FAX 編)』の「5 章 インターネット FAX を使う」の「複数メールアドレスや件名を設定する」を参照してください。	なし , あり	なし
	146	POP 取得間隔	POP 受信サーバーに対し、E メールの到着を確認する間隔を設定します。 ●POP 受信については、『取扱説明書(ファクス / インターネット FAX 編)』の「5 章 インターネット FAX を使う」の「E メールを受信する」を参照してください。	0 - 60(分)	3(分)
	147	POP 自動受信	POP 受信サーバーから、自動的にメールを受信するかどうかを設定します。 ●POP 受信については、『取扱説明書(ファクス / インターネット FAX 編)』の「5 章 インターネット FAX を使う」の「E メールを受信する」を参照してください。	なし , あり	あり

■システムの登録

タブ／ No.		項目	説明	選択肢	初期値
120-159	148	POP 受信後削除	本機が POP 受信サーバーからメールを受信したあとに、POP 受信サーバー上の E メールを削除するかどうかを設定します。 ・なし E メールを受信したあとも、POP 受信サーバーに E メールが残ります。 ・あり E メールを受信すると、POP 受信サーバーから E メールが削除されます。 ●POP 受信については、『取扱説明書（ファクス / インターネット FAX 編）』の「5 章 インターネット FAX を使う」の「E メールを受信する」を参照してください。	なし , あり	あり
	149	POP エラー時削除	受信できない E メールが POP 受信サーバーに到着した場合に、この E メールを削除するかどうかを設定します。 ・なし エラーの E メールを受信しても削除されません。 ・あり エラーの E メールを受信すると、自動的に削除されます。 ●POP 受信については、『取扱説明書（ファクス / インターネット FAX 編）』の「5 章 インターネット FAX を使う」の「E メールを受信する」を参照してください。	なし , あり	なし
	150	送達確認返送	インターネット FAX 受信時の通信結果を送信側に返送するかどうかを設定します。	なし , あり	なし
	151	メールヘッダー表示	メールを受信したときに印刷するヘッダーの項目を設定します。 ・なし ヘッダーの内容は印刷されません。 ・全て ヘッダーの内容がすべて印刷されます。 ・編集 差出人（From）、件名（Subject）、宛先（To）だけが印刷されます。	なし , 全て , 編集	編集
	152	SUB ルーティング	サブアドレスによるルーティングの有効 / 無効を設定します。 ルーティングを行うときに［あり］にします。	なし , あり	なし

■システムの登録

タブ／ No.		項目	説明	選択肢	初期値
120-159	153	数字 ID ルーティング	数字 ID によるルーティングの有効 / 無効を設定します。 ルーティングを行うときに[あり]にします。	なし , あり	なし
	154	ルーティング時 FROM	ルーティングにより、ネットワーク上のコンピューターやインターネットFAXへEメールを転送するときの、From 欄の内容を選択します。 ・ 中継局 中継局の内容が記載されます。 ・ 指示局 送信元の内容が記載されます。	中継局 , 指示局	指示局
	155	ルーティング時出力	ルーティング時に、受信した原稿を自局で印刷するときの条件を設定します。 ・ 全通信 送信できた場合、送信できなかった場合、どちらの場合も原稿が印刷されます。 ・ 異常時 送信できなかった場合にだけ、原稿が印刷されます。	異常時 , 全通信	異常時
	157	管理レポート送信	通信管理レポートを登録された宛先へ送信する機能の有効 / 無効を設定します。	なし , あり	なし
	158	メールリモート登録	リモート登録の有効 / 無効を設定します。 コンピューターから E メールを利用して、インターネットパラメーターの設定やアドレス帳登録を行うときは、[あり]に設定します。	なし , あり	なし
160-184	160	ドメイン名設定	ドメイン名の自動付加の有効 / 無効を設定します。 ドメイン名を省略してメールアドレスを入力し、自動的にドメイン名を付加したいときは、[あり]に設定します。	なし , あり	あり
	162	TIFF ビューアーURL	E メールのメッセージ中に入れる URL アドレスの言語を設定します。 [なし]に設定すると、URL アドレスは挿入されません。	なし , 日本文 , 英＋日	日本文
	163	ルーティングヘッダー	ルーティング時、ルート局のヘッダー情報を付けるかどうかを設定します。 ルート局のヘッダー情報を付けるときは、[あり]に設定します。	なし , あり	なし

■システムの登録

タブ／ No.		項目	説明	選択肢	初期値
160-184	170	SMTP 認証	SMTP 認証の有効 / 無効を設定します。	なし , あり	なし
	171	SMTP 時 POP 確認	SMTP での POP 確認の有効 / 無効を設定します。 (詳しくは、ネットワーク管理者にご相談ください。)	なし , あり	なし
	172	ダイレクト IFax 送信	ダイレクト IFax 送信の有効 / 無効を設定します。 インターネット FAX 通信や、リモート登録時、ダイレクトインターネット FAX 送信をする場合は [あり] に設定します。	なし , あり	なし
	173	送達確認要求	インターネット FAX で送信するときの、送達確認要求 (MDN) の初期値を設定します。 送達確認要求の設定は、送信のたびに個別に設定できます。 送達確認が受信側から返信されると、通信管理レポートに通信結果が記録されます。	なし , あり	あり
	174	APOP 認証	APOP による認証の有効 / 無効を選択します。 (この設定はサーバーに依存するものです。ネットワーク管理者にご相談ください。)	なし , あり	なし
	175	発番号ルーティング	発信者番号を利用したルーティングの有効 / 無効を設定します。 ルーティングを行うときに [あり] にします。 ●ナンバーディスプレイサービスを契約している場合に [あり] にします。	なし , あり	なし
	176	ダイヤルインルーティング	ダイヤルイン番号によるルーティングの有効 / 無効を設定します。 ルーティングを行うときに [あり] に設定し、ダイヤルイン番号を登録します。 ●「設定例 : ダイヤルインルーティングの登録」(p.92) を参照してください。 ●モデムダイヤルインサービスを契約している場合に [あり] にします。	なし , あり	なし
	177	送信ファイルタイプ	インターネット FAX 送信時のファイル形式の初期値を設定します。 ●PDF は、受信側が Acrobat Reader をインストールしているコンピューターの場合にだけ使えます。	TIFF , PDF	TIFF

■システムの登録

タブ／ No.		項目	説明	選択肢	初期値
160-184	183	カラーemail 添付ファイル形式	オプションのスキャナー装着時に、読み取った原稿を E メールの添付ファイルとして送信する場合の文書形式を設定します。 ●複数の宛先に送信する場合や、[複数ページ]選択時に大容量のファイルを添付する場合、設定が無効になることがあります。 ●添付ファイルの形式が高圧縮 PDF(Comp. PDF) 形式の場合は、[複数ページ]を選択してください。	1 ページ , 複数ページ	1 ページ
			・ 1 ページ 添付ファイルは 1 ページ単位となります。 （例）3 ページ読み取った場合 添付ファイルは 3 文書となり、E メールも 3 通となります。 1 通目の E メール 2 通目の E メール 3 通目の E メール ・ 複数ページ 添付ファイルはマルチページとなります。 （例）3 ページ読み取った場合 添付ファイルは 1 文書となり、E メールは 1 通となります。 E メールは 1 通だけ		

■中継情報の登録

タブ／ No.		項目	説明	選択肢	初期値
0-4	00	自局情報リスト印刷	中継情報の登録の自局情報リストを印刷します。	中止 , 開始	開始
	01	回線 1 電話番号の登録	回線 1 の電話番号を設定します。	52 桁まで	
	02	回線 1 レポート返送先の登録	回線 1 のレポート返送先の電話番号を設定します。	52 桁まで （短縮は 7 桁まで）	
	03	ネットワークパスワードの登録	ネットワークパスワードを設定します。	4 桁	
	04	自局中継識別番号の登録	本機の中継識別番号を設定します。	2 桁	
5-9	07	中継機宛先の登録	中継機宛先の電話番号を登録します。	52 桁まで	
	08	自ユーザーID の登録	自ユーザーID を登録します。	7 桁まで	
	09	回線 2　電話番号の登録	回線 2 の電話番号を設定します。 ●オプションの G3 増設ユニット装着時に表示されます。	52 桁まで	
10-14	10	回線 2　レポート返送先の登録	回線 2 のレポート返送先の電話番号を設定します。 ●オプションの G3 増設ユニット装着時に表示されます。	52 桁まで （短縮は 7 桁まで）	
15-19	15	ISDN　電話番号の登録	ISDN 回線の電話番号を設定します。 ●オプションの G4 通信ユニット装着時に表示されます。	52 桁まで	
	16	ISDN　レポート返送先の登録	ISDN 回線のレポート返送先の電話番号を設定します。 ●オプションの G4 通信ユニット装着時に表示されます。	52 桁まで （短縮は 7 桁まで）	

設定例 : LDAP サーバーの登録

LDAP サーバーを使用して電話番号やメールアドレスを検索する場合は、次の設定が必要です。

設定が必要な項目	設定するパラメーター
LDAP サーバー名	自局情報の登録 : 55 LDAP サーバー名
LDAP サーバー IP	自局情報の登録 : 56 LDAP サーバー IP
LDAP ユーザー名	自局情報の登録 : 57 LDAP ユーザー名
LDAP パスワード	自局情報の登録 : 58 LDAP パスワード
LDAP Search Base	自局情報の登録 : 59 LDAP Search Base
LDAP 文字コード	自局情報の登録 : 60 LDAP 文字コード

これらを設定する場合は、次の手順で操作します。

お知らせ

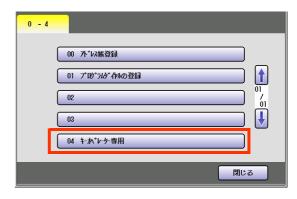
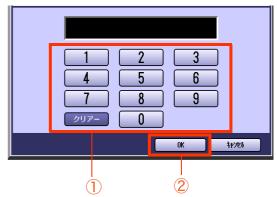
●LDAP検索については、『取扱説明書（ファクス/インターネットFAX編）』の「2章 ファクスの基本操作」の「宛先を検索する」を参照してください。

■55 LDAP サーバー名

この設定は、[共通機能設定] > [キーオペレーター専用] > [29 DNS サーバーアドレス] が [あり] の場合に設定します。[なし] の場合は、[56 LDAP サーバーIP] を設定します (p. 70)。

1. <ファンクション>を押す

2. [ファクス /E メール機能設定] を押す

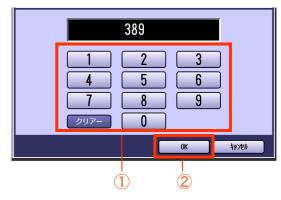
3. [04 キーオペレーター専用] を押す

4. パスワード (4 桁) を入力し、[OK] を押す

5. [00 自局情報の登録] を押す

6. [40-59] を押す

7. ↓を 3 回押す

8. [55 LDAP サーバー名] を押す

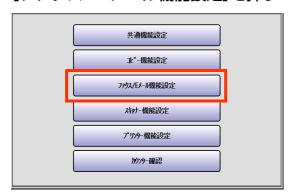
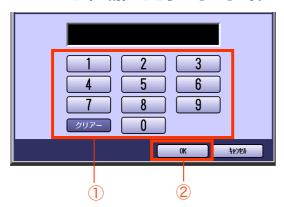
9. LDAPサーバー名 (60文字まで)を入力し、[OK] を押す

10. ポート番号(5桁まで)を入力し、[OK] を押す

- 引き続き「57 LDAP ユーザー名」(p.71)に進み、LDAP ユーザー名を設定します。

■56 LDAP サーバー IP

この設定は、[共通機能設定] > [キーオペレーター専用] > [29 DNS サーバーアドレス] が [なし] の場合に設定します。[あり] の場合は、[55 LDAP サーバー名] を設定します (p. 68)。

1. <ファンクション>を押す

2. [ファクス /E メール機能設定] を押す

3. [04 キーオペレーター専用] を押す

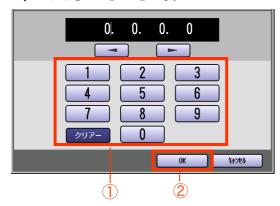
4. パスワード(4 桁)を入力し、[OK] を押す

5. [00 自局情報の登録] を押す

6. [40-59] を押す

7. ↓を 3 回押す

8. [56 LDAP サーバー IP] を押す

9. LDAPサーバー のIPアドレス(3桁 × 4) を入力し、[OK]を押す

10. ポート番号(5桁まで)を入力し、[OK]を押す

- 引き続き「57 LDAP ユーザー名」(p.71)に進み、LDAP ユーザー名を設定します。

■57 LDAP ユーザー名
■58 LDAP パスワード
■59 LDAP Search Base

1. [57 LDAP ユーザー名]、[58 LDAP パスワード] 、または [59 LDAP Search Base]のいずれかを押す

2. LDAP ユーザー名 (40 文字まで)、パスワード (10 文字まで)、LDAP Search Base (60 文字まで) を入力し、[OK]を押す

- 引き続き「60 LDAP文字コード」(p.72)に進み、LDAP 文字コードを設定します。

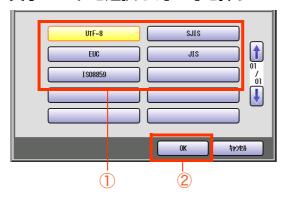
■60 LDAP 文字コード

LDAP 文字コードを設定します。

1. [60-64] を押す

2. [60 LDAP 文字コード] を押す

3. 文字コードを選択し、[OK] を押す

① ②

- 設定が終了したら、**＜リセット＞**を押します。ファンクション設定をする前の機能の画面に戻ります。

設定例：定期便タイマーの登録

定期便タイマーの時刻を変更する場合は、次の手順で操作します。

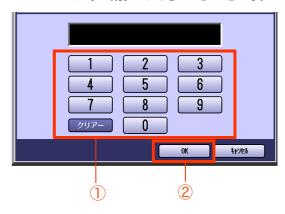
お知らせ

●定期便タイマーについては、『取扱説明書（ファクス／インターネットFAX編）』の「3章 便利なファクス機能」の「時間を決めて通信する［定期便タイマー通信］」を参照してください。

1. ＜ファンクション＞を押す

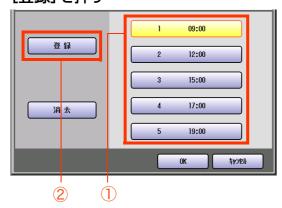
2. ［ファクス /E メール機能設定］を押す

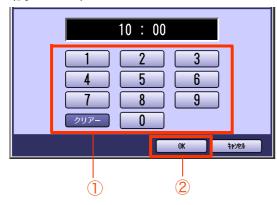
3. ［04 キーオペレーター専用］を押す

4. パスワード（4 桁）を入力し、［OK］を押す

5. ［00 自局情報の登録］を押す

6. ↓を押す

7. **[05 定期便タイマーの登録]を押す**

8. **登録または変更するボタンを選択し、[登録]を押す**

9. **時刻を入力し、[OK]を押す**

（例：10:00）

- 誤って入力した場合は、画面内の[クリアー]を押すと、入力位置の左側の文字を1文字ずつ削除できます。

10. **[OK]を押す**

11. **[閉じる]を押す**

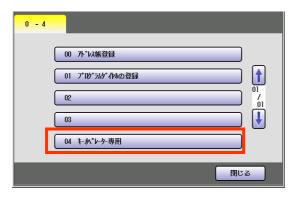
- 設定が終了したら、**<リセット>**を押します。ファンクション設定をする前の機能の画面に戻ります。

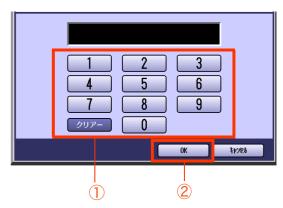
設定例：パスワード送信 / パスワード受信

送信側のパスワードと受信側のパスワードが一致した場合にだけ送受信をする機能です。
パスワード送信 / パスワード受信の機能を有効に設定する場合は、次の手順で操作します。

お知らせ

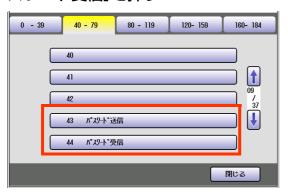
- ●パスワード送信については、『取扱説明書（ファクス／インターネットFAX編）』の「3章 便利なファクス機能」の「パスワードを使って送信する［パスワード送信］」を参照してください。
- ●パスワード受信については、『取扱説明書（ファクス／インターネットFAX編）』の「4章 受信について」の「便利な受信機能」を参照してください。

1. <ファンクション>を押す

2. ［ファクス /E メール機能設定］を押す

3. ［04 キーオペレーター専用］を押す

4. パスワード（4 桁）を入力し、［OK］を押す

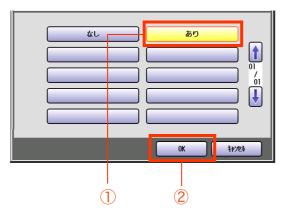
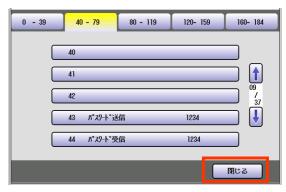
5. ［01 システムの登録］を押す

6. ［40-79］を押す

7. **[43 パスワード送信] または [44 パスワード受信]を押す**

8. **パスワード(4 桁)を入力し、[OK]を押す**

(例:パスワード送信 /1234)

- 誤って入力した場合は、画面内の[クリアー]を押すと、すべての文字が一度に削除されます。

9. **[あり]を選択し、[OK]を押す**

10. **[閉じる]を押す**

- 設定が終了したら、**<リセット>**を押します。ファンクション設定をする前の機能の画面に戻ります。

11. **[閉じる]を押す**

- 設定が終了したら、**<リセット>**を押します。ファンクション設定をする前の機能の画面に戻ります。

設定例：メモリー転送の登録

メモリー転送とは、受信文書を他のファクスやコンピューターに転送する機能です。
夜間や休日に、別の場所(自宅など)でファクス文書を受信したい場合に便利です。

メモリー転送を設定する場合は、次の項目を設定します。

- メモリー転送を[あり]に設定
- メモリー転送先
- 着信ポート　(メモリー転送を適用する回線)
- 転送時間帯　(転送時間帯を設定する / しない、する場合は転送の開始時刻と終了時刻)
- 自端末出力の指定　(受信文書を本機で印刷する / しない)

メモリー転送を登録する場合は、次の手順で操作します。

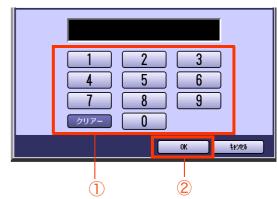
お知らせ

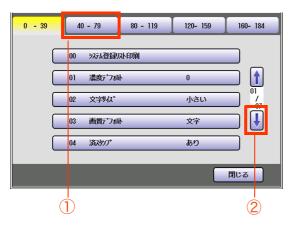
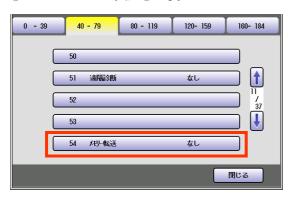
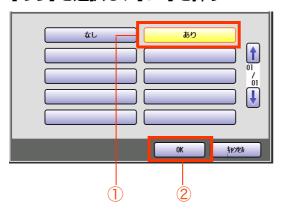
- メモリー転送については、『取扱説明書(ファクス/インターネットFAX編)』の「4章 受信について」の「便利な受信機能」を参照してください。
- 転送先は、あらかじめアドレス帳に登録しておく必要があります。
アドレス帳の登録については、『取扱説明書(ファクス / インターネット FAX 編)』の「7 章　データを登録する」の「アドレス帳を登録する」を参照してください。

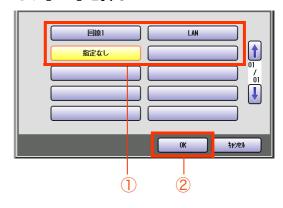
1. <ファンクション>を押す

2. [ファクス /E メール機能設定] を押す

3. [04 キーオペレーター専用] を押す

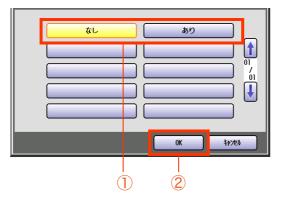
4. パスワード(4 桁)を入力し、[OK] を押す

5. [01 システムの登録]を押す

6. [40-79]を押し、⬇を 2 回押す

7. [54 メモリー転送]を押す

8. [あり]を選択し、[OK]を押す

9. 転送先を設定し、[OK]を押す

10. メモリー転送を適用する回線を選択し、[OK]を押す

回線 1	電話回線経由で受信した文書だけがメモリー転送されます。
LAN	ネットワーク経由で受信した文書だけがメモリー転送されます。
指定なし	電話回線経由、ネットワーク経由どちらで受信した文書もメモリー転送されます。

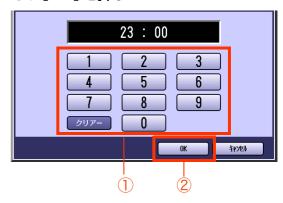
＜次ページへ続く＞

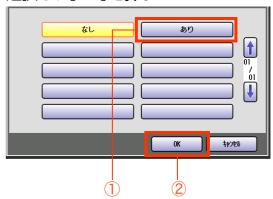
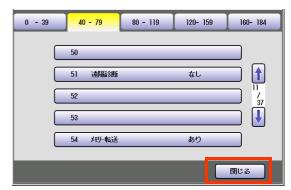
11. **メモリー転送する時間帯を設定するかどうかを設定し、[OK]を押す**

・ [あり]を選択した場合は、手順 12 と 13 にすすむ
・ [なし]を選択した場合は、手順 14 にすすむ

LAN	手順 11 ～ 12 で設定した時間帯に受信した文書だけが、メモリー転送されます。
指定なし	すべての受信文書がメモリー転送されます。

12. **手順 11 で[あり]を選択した場合：メモリー転送を開始する時刻を設定し、[OK]を押す**

● 誤って入力した場合は、画面内の[クリアー]を押すと、入力位置の左側の文字を 1 文字ずつ削除できます。

13. **手順 11 で[あり]を選択した場合：メモリー転送を終了する時刻を設定し、[OK]を押す**

● 誤って入力した場合は、画面内の[クリアー]を押すと、入力位置の左側の文字を 1 文字ずつ削除できます。

14. **受信文書を本機で印刷するかどうかを選択し、[OK]を押す**

15. **[閉じる]を押す**

● 設定が終了したら、**<リセット>**を押します。ファンクション設定をする前の機能の画面に戻ります。

設定例：マルチプリント部数の登録

マルチプリント部数とは、あらかじめ設定している部数分、受信文書が印刷される機能です。
マルチプリント部数を登録する場合は、次の手順で操作します。

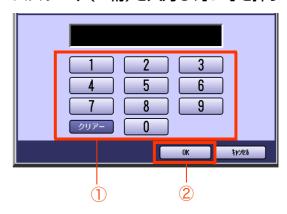
お知らせ

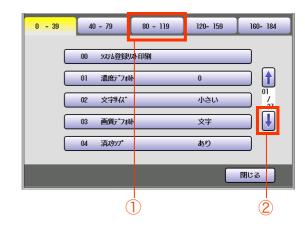
●マルチプリント部数については、『取扱説明書（ファクス／インターネットFAX編）』の「4章 受信について」の「受信時の印刷について」を参照してください。

1. **<ファンクション>を押す**

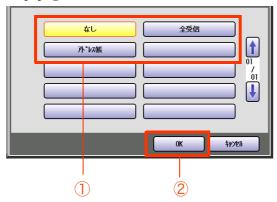
2. **[ファクス /E メール機能設定] を押す**

3. **[04 キーオペレーター専用] を押す**

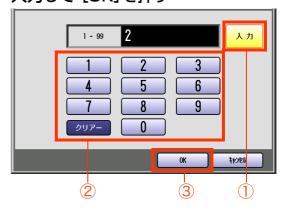
4. **パスワード(4 桁)を入力し、[OK] を押す**

5. **[01 システムの登録] を押す**

6. **[80-119] を押し、↓を 4 回押す**

7. [101 マルチプリント部数]を押す

8. マルチプリント部数のモードを選択し、[OK]を押す

- [全通信]を選択した場合は、手順9にすすむ
- [アドレス帳]を選択した場合は、手順10にすすむ

なし	マルチプリント部数は無効です。
全受信	受信文書は、すべて手順9で設定した部数が印刷されます。
アドレス帳	送信元の宛先がアドレス帳に登録されている場合にだけ、マルチプリント部数の機能がはたらきます。 アドレス帳に登録されている部数分が印刷されます。

- アドレス帳へのマルチプリント部数の登録については、『取扱説明書(ファクス / インターネットFAX編)』の「7章 データを登録する」の「アドレス帳を登録する」を参照してください。

9. 手順8で、[全通信]を選択した場合：[入力]を押し、マルチプリント部数を入力して [OK]を押す

- 誤って入力した場合は、画面内の[クリアー]を押すと、入力位置の左側の文字を1文字ずつ削除できます。

10. [閉じる]を押す

- 設定が終了したら、**<リセット>**を押します。ファンクション設定をする前の機能の画面に戻ります。

設定例：中継送信先の登録（LAN 中継同報)

LAN 中継で、本機から LAN 中継指示をする場合は、次の設定が必要です。

設定するパラメーター	設定が必要な項目
LAN 中継送信指示	システムの登録：140 LAN 中継送信指示

この項目を設定する場合は、次の手順で操作します。

お知らせ

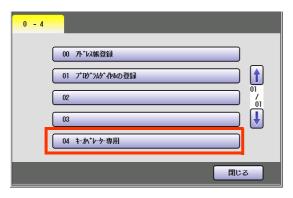
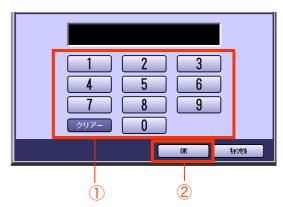
LAN 中継指示については、『取扱説明書（ファクス / インターネット FAX 編）』の「5 章 インターネット FAX を使う」を参照してください。

■140 LAN 中継送信指示

LAN 中継送信指示の機能を設定します。

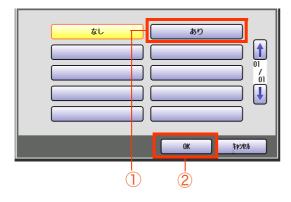
1. ＜ファンクション＞を押す

2. ［ファクス /E メール機能設定］を押す

3. ［04 キーオペレーター専用］を押す

4. パスワード（4 桁）を入力し、［OK］を押す

5. ［01 システムの登録］を押す

6. [120-159]を押し、↓ を 4 回押す

7. [140 LAN 中継送信指示]を押す

8. [あり]を選択し、[OK]を押す

9. [閉じる]を押す

- 設定が終了したら、**<リセット>**を押します。ファンクション設定をする前の機能の画面に戻ります。

設定例：中継局の登録（LAN 中継同報）

LAN 中継で、本機を中継局として使用する場合は、次の設定が必要です。

設定するパラメーター	設定が必要な項目
LAN 中継機能	システムの登録：142 LAN 中継機能
LAN 中継結果返送	システムの登録：143 LAN 中継結果返送
管理者メールアドレス	自局情報の登録：37 管理者メールアドレス
中継用パスワード	自局情報の登録：40 ～ 44: 中継用パスワード 01 ～ 05
中継許可ドメイン名	自局情報の登録：45 ～ 54: 中継許可ドメイン名 01 ～ 10

これらを設定する場合は、次の手順で操作します。

お知らせ

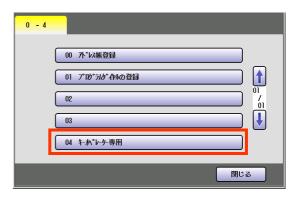
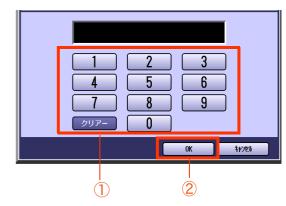
LAN 中継指示については、『取扱説明書（ファクス / インターネット FAX 編）』の「5 章 インターネット FAX を使う」を参照してください。

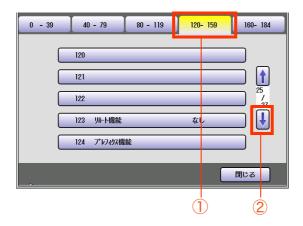
■142 LAN 中継機能

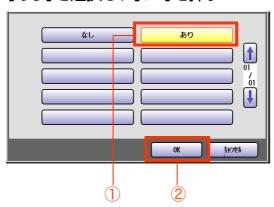
LAN 中継機能を設定します。

1. <ファンクション>を押す

2. [ファクス /E メール機能設定] を押す

3. [04 キーオペレーター専用] を押す

4. パスワード（4 桁）を入力し、[OK] を押す

5. [01 システムの登録]を押す

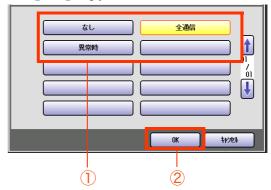
6. [120-159]を押し、↓を 4 回押す

7. [142 LAN 中継機能]を押す

8. [あり]を選択し、[OK]を押す

● 引き続き「143 LAN中継結果返送」(p.87)に進み、レポートの印刷方法を設定します。

■143 LAN 中継結果返送

中継結果レポートの印刷方法を設定します。

1. [143 LAN 中継結果返送]を押す

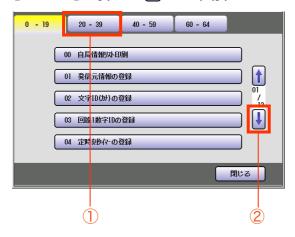
2. 中継結果レポートの印刷方法を選択し、[OK]を押す

3. [閉じる]を押す

● 引き続き「37 管理者メールアドレス」(p.88)に進み、管理者メールアドレスを設定します。

■37 管理者メールアドレス

LAN 中継同報機能の設定やコスト管理を行う責任者の電子メールアドレスを入力します。
［16 メールサーバー名］か［17 メールサーバーIP アドレスの登録］(p.48)でメールサーバーへの接続ポート番号を初期値の 25 以外に変更した場合、管理者メールアドレスへのメール送信はできません。

1. ［00 自局情報の登録］を押す

2. ［20-39］を押し、↓を 3 回押す

3. ［37 管理者メールアドレス］を押す

4. E メールアドレス(60 文字まで)を入力し、［OK］を押す

● 引き続き「40 中継用パスワード 01 ～ 44 中継用パスワード 05」(p.89)に進み、中継用パスワードを設定します。

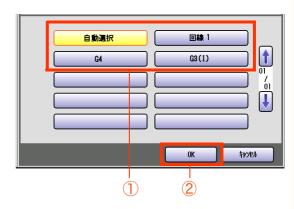
■40 中継用パスワード 01 ～ 44 中継用パスワード 05

LAN 中継で使用する中継用パスワードを設定します。
中継用パスワードは、5 つまで設定できます。

1. [40-59] を押す

2. [40 中継用パスワード 01]～[44 中継用パスワード 05] のいずれかを押す

3. パスワード（10 文字まで）を入力し、[OK] を押す

4. 使用する回線を選択し、[OK] を押す

- 選択肢はオプションの装着によって変わります。
- 引き続き「45 中継許可ドメイン名 01 ～ 54 中継許可ドメイン名 10」(p.90) に進み、中継許可ドメイン名を設定します。

■45 中継許可ドメイン名 01 ～ 54 中継許可ドメイン名 10

中継を許可するドメイン名を設定します。
中継許可ドメイン名は、１０個まで設定できます。

1. ⇩を押す

2. [45 中継許可ドメイン名 01]～[54 中継許可ドメイン名 10]のいずれかを選択する

- ⇩を押すと、[50　中継許可ドメイン名　06]～ [54 中継許可ドメイン名　10]を表示できます。

3. 中継許可ドメイン名 (30 文字まで) を入力し、[OK]を押す

4. [閉じる]を押す

- 設定が終了したら、**<リセット>**を押します。ファンクション設定をする前の機能の画面に戻ります。

設定例：ダイヤルインルーティングの登録

ダイヤルインルーティング機能を設定し、ダイヤルイン番号を登録する場合は、次の手順で操作します。

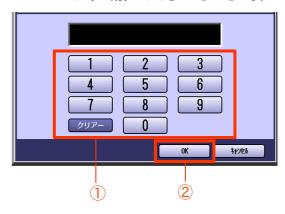
お知らせ

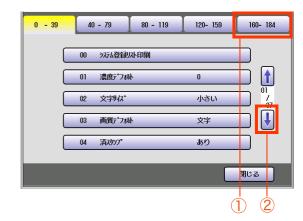
●ルーティングについては、『取扱説明書（ファクス／インターネットFAX編）』の「3章 便利なファクス機能」の「ルーティング機能を使う」を参照してください。

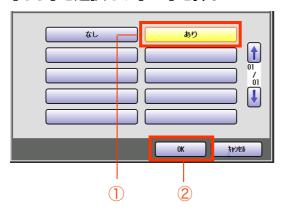
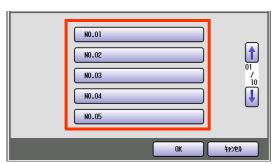
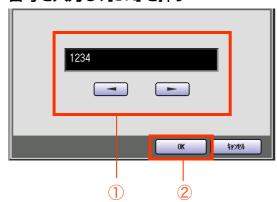
1. **<ファンクション>を押す**

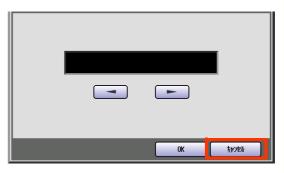
2. [ファクス /E メール機能設定] を押す

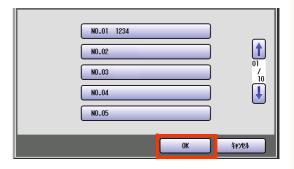
3. [04 キーオペレーター専用] を押す

4. パスワード(4 桁)を入力し、[OK] を押す

5. [01 システムの登録] を押す

6. [160-184] を押し、↓ を 3 回押す

7. [176 ダイヤルインルーティング]を押す

8. [あり]を選択し、[OK]を押す

9. ダイヤルイン番号を登録するボタンを押す

10. 操作パネルのテンキーで、ダイヤルイン番号を入力し、[OK]を押す

- 誤って入力した場合は、操作パネルの**<クリアー>**を押して訂正します。

11. 設定が終了したら、[キャンセル]を押す

- 引き続き、次のNo.にダイヤルイン番号を登録する場合は、[キャンセル]を押さずに、表示された画面にダイヤルイン番号を入力して[OK]を押します。
  この操作をすべてのダイヤルイン番号を入力するまで繰り返します。

12. [OK]を押す

13. [閉じる]を押す

- 設定が終了したら、**<リセット>**を押します。ファンクション設定をする前の機能の画面に戻ります。

5章
スキャナー機能設定

この章では、[スキャナー機能設定] の項目について説明しています。
スキャナー機能設定では、スキャナーの使用用形態に合わせ、より便利に操作できるように設定を変更できます。

スキャナー機能設定

スキャナー機能設定では、アドレス帳の登録、スキャナー機能の有効 / 無効、および選択肢の初期値などを設定します。スキャナー機能設定の設定項目は次のとおりです。

お知らせ

アドレス帳の登録については、『取扱説明書(スキャナー/E メール編)』の「第４章 アドレス帳を編集する」を参照してください。

■一般ユーザー

タブ／ No.		項目	説明	選択肢	初期値
0-9	00	スキャナーアドレス帳印刷	スキャナーのアドレス帳リストを印刷します。 ● アドレス未登録時は印刷できません。	中止 , 開始	開始
	01	画質デフォルト	画質の初期値を設定します。	文字 , 文字写真 , 写真	文字写真
	02	カラーモードデフォルト	カラーモードの初期値を設定します。	フルカラー, グレースケール , 白黒	フルカラー
	03	濃度デフォルト	濃度の初期値を設定します。	-3 ～ +3 (うすく, こく)	0
	04	地色除去デフォルト	地色除去の初期値を設定します。	オフ , 1 ～ 6 (−, +)	(レベル) 3
	05	コントラストデフォルト	コントラストの初期値を設定します。	-3 ～ +3 (よわく, つよく)	0
	06	画像圧縮形式 (白黒)	画像圧縮形式(白黒)の初期値を設定します。	MH, MR, MMR, JBIG	MMR
	07	画像圧縮形式 (カラー)	画像圧縮形式(カラー)の初期値を設定します。	標準 , 速度優先 , 画質優先	標準
	08	画像圧縮形式(グレースケール)	画像圧縮形式 (グレースケール) の初期値を設定します。	標準 , 速度優先 , 画質優先	標準
	09	ファイルタイプ (白黒)	ファイルタイプ(白黒)の初期値を設定します。	TIFF, PDF	PDF
10-19	10	ファイルタイプ (カラー/グレースケール)	ファイルタイプ (カラー/グレースケール) の初期値を設定します。	JPEG, PDF, 高圧縮 PDF	JPEG
	11	解像度(白黒)	解像度(白黒)の初期値を設定します。	200dpi, 300dpi, 400dpi, 600dpi	300dpi
	12	解像度(カラー/ グレースケール)	解像度(カラー/ グレースケール)の初期値を設定します。	200dpi, 300dpi, 400dpi, 600dpi	200dpi
	13	SADF 機能	SADF 機能(ADF を使って厚さが薄い原稿を読み取る)の初期値を設定します。	なし , あり	なし
	14	両面原稿のとじ方向	両面原稿のとじ方向の初期値を設定します。	長辺とじ , 短辺とじ	長辺とじ

■一般ユーザー

タブ／ No.		項目	説明	選択肢	初期値
10-19	15	アドレスの登録	アドレス帳にコンピューターのIP アドレスを登録します。＊1	＊1 [15 アドレスの登録]、[18 アドレスの変更]、[20 アドレスの削除] は、コンピューターを使って設定するため、ここで設定する必要はありません。詳しくは、『取扱説明書（セットアップ編）』の「スキャナーの設定（オプション）」を参照してください。 ＊2 E メールアドレスとボックス名の設定は、『取扱説明書（スキャナー/Eメール編）』の「第4章 アドレス帳を編集する」を参照してください。	
	16	E メールアドレスの登録	アドレス帳にメールアドレスを登録します。 ＊2		
	18	アドレスの変更	アドレス帳に登録されているコンピューターのIP アドレスを変更します。 ＊1		
	19	E メールアドレスの変更	アドレス帳に登録されているメールアドレスを変更します。 ＊2		
20-29	20	アドレスの削除	アドレス帳に登録されているコンピューターの ＩＰ アドレスを削除します。 ＊1		
	21	E メールアドレスの削除	アドレス帳に登録されているメールアドレスを削除します。 ＊2		
	25	ボックス名の登録	イメージボックスの名前を登録します。 ＊2 ●イメージボックスにデータが保存されているときは、名前の変更はできません。		
	29	キーオペレーター専用	キーオペレーターのパスワードを入力すると、キーオペレーター専用メニューに移行します。 「キーオペレーター」（p.97）を参照してください。	―	0000

■キーオペレーター

タブ /No.		項目	説明	選択肢	初期値
0-4	00	スキャナー機能設定印刷	スキャナー機能設定リストを印刷します。	中止 , 開始	開始
	01	全ボックスのファイル削除	イメージボックス内のファイルをすべて削除します。	―	

6章
プリンター機能設定

この章では、[プリンター機能設定]の項目について説明しています。
プリンター機能設定では、プリンターの使用形態に合わせ、より便利に操作できるように設定を変更できます。

プリンター機能設定

プリンター機能設定では、プリンター機能の有効 / 無効や、選択肢の初期値などを設定します。

ただし、印刷をする場合、通常はコンピューターのアプリケーションソフトで印刷設定をするため、プリンター機能の操作をする必要はほとんどありません。

本機でプリンター機能の項目を設定しても、コンピューターのアプリケーションソフトで設定した内容が優先されます。本機のプリンター機能の設定が必要な場合は、コンピューター関連知識をもつ方にご相談の上、操作をしてください。また、印刷が終了したら、プリンター機能の設定内容を、変更前の状態に戻しておくことをお勧めします。

プリンター機能設定の設定項目は次のとおりです。

■一般ユーザー

タブ／ No.		項目	説明	選択肢	初期値
0-9	00	プリント枚数	印刷枚数を設定します。	1 ～ 999(枚)	1(枚)
	01	用紙サイズ	用紙サイズを設定します。	A3, B4, A4, B5, A5, 11x17, Legal, 8.5x11, 5.5x8.5, 8x13, 8.5x13, 12x18, Custom	A4
	02	給紙口選択	給紙カセットを設定します。	自動 , 手差し , カセット 1, カセット 2, カセット 3, カセット 4	自動
	03	印刷方向	印刷方向を設定します。	ポートレート(縦方向), ランドスケプ(横方向)	ポートレート
	05	両面印刷	両面印刷をするかどうかを設定します。	しない , する	しない
	06	両面時のとじ方向指定	両面印刷をする場合のとじ位置を設定します。	長辺とじ , 短辺とじ	長辺とじ
	07	解像度	解像度を設定します。	1200dpi, 600dpi	600dpi
	08	PCL フォント	PCL のフォントを設定します。	0 ～ 99	0
	09	PCL シンボルテーブル	PCL のシンボルテーブルを設定します。	0 ～ 35	11
10-19	10	PCL ピッチ	PCL のピッチ を設定します。	00.44 ～ 99.99	10.00
	11	PCL ポイントサイズ	PCL のポイントサイズを設定します。	004.00 ～ 999.75	012.00
	12	PCL 行数	PCL の 1 ページあたりの行数を設定します。	5 ～ 123	60
	13	PCL 復帰文字	改行指示を手動で入力します。	CR, CR+LF	CR
	14	A4, LTR 代替印刷	Letter(8.5" x 11")サイズの印刷データを A4 に自動変換させて印刷するかどうかを設定します。	しない , する	しない

■一般ユーザー

タブ／ No.		項目	説明	選択肢	初期値
10-19	15	メールボックスメモリー使用状況	オプションのハードディスクユニット装着時に、ハードディスク内のメールボックスの残容量と残ボックス数が表示されます。		
	16	プリント強制排出	プリントデータを強制的に印刷します。	中止 , 実行	中止
	17	PDF パスワード入力確認	PDF のパスワードの入力確認の有無を設定します。	なし , あり	なし
	18	SD プリントカラーモード	SD カードから、Micorsoft Word、Microsft PowerPoint または Adobe PDF 形式のファイルをプリントする際のカラーモード(カラーまたは白黒)を設定します。 ●この項目は、MCP(メモリーカードプリント)機能、またはオプションのプリンターコントローラーユニット(Adobe®PostScript®3 ™用) 装着時に有効になります。	カラー, 白黒	カラー
20-29	20	Custom Size 長さ単位	ユーザー定義サイズの単位を設定します。	mm, inch	mm
	21	Custom Size 横長さ	ユーザー定義サイズの横方向の長さを設定します。	100 ～ 305(mm)	305(mm)
	22	Custom Size 縦長さ	ユーザー定義サイズの縦方向の長さを設定します。	148 ～ 457(mm)	457(mm)
	23	Wide A4 対応	Wide A4 に対応するかどうかを設定します。	しない , する	しない
	25	モノクロ･カラー切替	モノクロ･カラー切替をするかどうかを設定します。	しない , する	する
	26	トナーセーブ	トナーセーブをするかどうかを設定します。	しない , する	しない
	27	自動コントラスト補正	SD カードの JPEG 画像を印刷する場合に、自動コントラスト補正をするかどうかを設定します。 ● インデックスプリント時は無効です。	しない , する	しない
	29	キーオペレーター専用	キーオペレーターのパスワードを入力すると、キーオペレーター専用メニューに移行します。 「キーオペレーター」(p.102)を参照してください。		0000

■キーオペレーター

タブ／ No.		項目	説明	選択肢	初期値
0-14	00	プリンター機能設定印刷	プリンター機能設定リストを印刷します。	中止 , 開始	開始
	01	ジョブ終端検出タイムアウト時間	印刷ジョブの終端検出用信号を受信するまでの時間を変更できます。	1 ～ 999(秒)	180(秒)
	02	メモリー不足時の LOSSY 圧縮	メモリーフル時に、印刷品質は落ちるが、とりあえず印刷させたい場合、LOSSY 形式で圧縮処理し、印刷させるかどうかを設定します。	しない , する	しない
	03	エラーページ印刷	エラーが発生したページを印刷するかどうかを設定します。	しない , する	する
	04	スプーリング機能	スプール機能を設定します。	しない , する	する
	05	テキスト印刷	文字情報だけのジョブを印刷するかどうかを設定します。	しない , する	する
	07	フォントリストプリント , PCL	PCL フォントリストを印刷します。	中止 , 開始	中止
	08	フォントリストプリント , PS	PS フォントリストを印刷します。 ● この項目は、オプションのプリンターコントローラーユニット（Adobe®PostScript®3 ™用）装着時に表示されます。	中止 , 開始	中止
	09	メールボックスデータ保持期間	オプションのハードディスクユニットを装着している場合に、ハードディスクのメールボックス内の、データの保存期間を設定します。 [無制限] に設定すると、データは消去されません。	無期限 , 1 日 , 2 日 , 3 日 , 4 日 , 5 日 , 6 日 , 7 日	7 日
	10	メールボックスデータ手動削除	オプションのハードディスクユニットを装着している場合に、メールボックス内のデータを手動で消去します。 ・ 全文書 メールボックス内のすべてのデータが消去されます。 ・ 日付指定 [日付指定] を押して、消去するデータの日付を、操作パネルのテンキーで入力します。 設定した日付以前のデータが消去されます。	全文書 , 日付指定	日付指定
	11	プリントキュー削除権限	プリントジョブを取り消す権限を設定します。 ・ フリー データを消去する操作者に制限はありません。 ・ キーオペレータ データを消去できるのは、キーオペレーターだけです。	フリー, キーオペレータ	キーオペレータ

■キーオペレーター

タブ／No.		項目	説明	選択肢	初期値
0-14	14	プリンター言語	プリント言語を設定します。 ・Auto 受信したデータのプリント言語を自動判別して印刷されます。 ・PCL 受信したデータのプリント言語を PCL として扱い、印刷されます。 ・PS 受信したデータのプリント言語を Post Script として扱い、印刷されます。 ● この項目は、オプションのプリンターコントローラーユニット（Adobe®PostScript®3 ™用）装着時に表示されます。	自動 , PCL, PS	自動
15-29	＊18	AppleTalk	AppleTalk を使用するかどうかを設定します。 ● この項目は、オプションのプリンターコントローラーユニット（Adobe®PostScript®3 ™用）装着時に表示されます。	なし , あり	あり
	＊19	AppleTalk ゾーン名	AppleTalk のゾーン名を設定します。 ● この項目は、オプションのプリンターコントローラーユニット（Adobe®PostScript®3 ™用）装着時に表示されます。		
	＊20	AppleTalk プリンター名	AppleTalk のプリンター名を設定します。 ● この項目は、オプションのプリンターコントローラーユニット（Adobe®PostScript®3 ™用）装着時に表示されます。		
	＊21	AppleTalk タイプ名	AppleTalk のタイプ名を設定します。 ● この項目は、オプションのプリンターコントローラーユニット（Adobe®PostScript®3 ™用）装着時に表示されます。		
	＊22	NetWare	NetWare を使用するかどうかを設定します。	なし , あり	なし
	＊23	NetWare フレームタイプ	NetWare のフレームタイプを設定します。	802.3, 802.2, Ether-II, SNAP	802.2

＊ No. 18 ～ 23
設定後、電源の切 / 入が必要です。

■キーオペレーター

タブ／ No.		項目	説明	選択肢	初期値
15-29	24	選択されたフレームタイプ	検出したフレームタイプが自動的に表示されます。（設定はできません）	――	――
	＊25	NetWare モード	NetWare のモードを設定します。 ・ Pserver 本機をプリントサーバーモードで使用する場合に選択します。プリントサーバーモードでは、本機がプリンターサーバーとして機能し、プリントキューにあるジョブを取り出して印刷します。 ・ Rprinter 本機をリモートプリンターモードで使用する場合に選択します。 リモートプリンターモードでは、ファイルサーバー上のプリントサーバーから送られたジョブを印刷します。	Pserver, Rprinter	Pserver
	＊26	NetWare プリンター名	NetWare のプリンター名を設定します。	31 文字まで	――
	＊27	プリントサーバー名	プリントサーバー名を設定します。	31 文字まで	――
	＊28	プリントサーバーパスワード	プリントサーバーのパスワードを設定します。	31 文字まで	――
	＊29	ジョブポーリング間隔	ポーリング間隔を設定します。	2-255（秒）	4（秒）
30-44	＊30	バインダリーモード	NetWare のバインダリーモードを使うかどうかを設定します。	なし , あり	なし
	＊31	ファイルサーバー名 1	ファイルサーバー名を設定します。 ファイルサーバー名は 8 つまで設定できます。	31 文字まで	――
	＊32	ファイルサーバー名 2			
	＊33	ファイルサーバー名 3			
	＊34	ファイルサーバー名 4			
	＊35	ファイルサーバー名 5			
	＊36	ファイルサーバー名 6			
	＊37	ファイルサーバー名 7			
	＊38	ファイルサーバー名 8			
	＊39	NDS ツリー名	ツリー名を設定します。	31 文字まで	――

＊ No. 25 ～ 39
設定後、電源の切 / 入が必要です。

■キーオペレーター

タブ／No.		項目	説明	選択肢	初期値
30-44	＊40	NDS コンテキスト	コンテキストを設定します。	77 文字まで	—
	＊41	プリントサーバー名 1	プリントサーバー名を設定します。プリントサーバー名は 8 つまで設定できます。	31 文字まで	—
	＊42	プリントサーバー名 2			
	＊43	プリントサーバー名 3			
	＊44	プリントサーバー名 4			
45-54	＊45	プリントサーバー名 5			
	＊46	プリントサーバー名 6			
	＊47	プリントサーバー名 7			
	＊48	プリントサーバー名 8			
	＊49	ジョブタイムアウト	ジョブタイムアウトの時間を設定します。	4-255(秒)	10(秒)
	50	MCP サーバー使用	MCP(メモリーカードプリント)サーバーを使用するかどうかを設定します。	しない，する	しない
	51	MCP サーバー名	MCP(メモリーカードプリント)サーバー名を入力します。 ●この項目は、次の２つの条件を満たす場合に設定します。 ・[共通機能設定]＞[キーオペレーター専用]＞[29DNS サーバーアドレス]が[あり]の場合 ・[プリンター機能設定]＞[キーオペレーター専用]＞[50MCP サーバー使用]が[する]の場合	60 文字まで	—
	52	MCP サーバーIP アドレス	MCP(メモリーカードプリント)サーバーの IP アドレスを入力します。 ●この項目は、次の２つの条件を満たす場合に設定します。 ・[共通機能設定]＞[キーオペレーター専用]＞[29DNS サーバーアドレス]が[なし]の場合 ・[プリンター機能設定]＞[キーオペレーター専用]＞[50MCP サーバー使用]が[する]の場合	3 桁× 4	0.0.0.0
	53	SD/ ダイレクト ソートメモリー使用	SD カード印刷で複数部印刷する場合に、ソートメモリーを使用するかどうかを設定します。	しない，する	する

＊ No. 40 ～ 49
設定後、電源の切 / 入が必要です。

7章
カウンター確認

この章では、[カウンター確認]に表示される、消耗品(ドラムユニットやトナー)のカウント値について説明しています。

カウンター確認

[カウンター確認] を押すと、印刷した回数や、原稿を読み取った回数を確認できます。
カウンター確認に表示される項目は次表のとおりです。

タブ／ No.		項目	説明
0-9	00	トータルカウント　モノクロ	モノクロ印刷の回数です。
	01	トータルカウント　1C	1 色印刷の回数です。
	02	トータルカウント　2C	2 色印刷の回数です。
	03	トータルカウント　4C	フルカラー印刷の回数です。
	05	スキャナーカウント (フラットベット)	原稿台ガラスを使って原稿を読み取った回数です。
	06	スキャナーカウント (ADF)	ADF を使って原稿を読み取った回数です。
	07	PC 印刷カウント　モノクロ	コンピューターから送信されたデータのモノクロ印刷の回数です。
	08	PC 印刷カウント　4C	コンピューターから送信されたデータのフルカラー印刷の回数です。
	09	Fax 印刷カウント	ファクス受信したデータの印刷回数です。
10-19	10	ドラムユニット(イエロー)	イエロードラムユニットの残量(%)です。
	11	ドラムユニット(マゼンタ)	マゼンタドラムユニットの残量(%)です。
	12	ドラムユニット(シアン)	シアンドラムユニットの残量(%)です。
	13	ドラムユニット(ブラック)	ブラックドラムユニット の残量(%)です。
	15	トナー(イエロー)	イエロートナーの残量(%)です。
	16	トナー(マゼンタ)	マゼンタトナーの残量(%)です。
	17	トナー(シアン)	シアントナーの残量(%)です。
	18	トナー(ブラック)	ブラックトナーの残量(%)です。
20-29	20	イエローイメージエリア (最後)	最後に印刷した文書の、イエローイメージエリアの率です。
	21	マゼンタイメージエリア (最後)	最後に印刷した文書の、マゼンタイメージエリアの率です。
	22	シアンイメージエリア (最後)	最後に印刷した文書の、シアンイメージエリアの率です。
	23	ブラックイメージエリア (最後)	最後に印刷した文書の、ブラックイメージエリアの率です。
	25	イエローイメージエリア (平均)	イエローイメージエリアの平均値です。
	26	マゼンタイメージエリア (平均)	マゼンタイメージエリアの平均値です。
	27	シアンイメージエリア (平均)	シアンイメージエリアの平均値です。
	28	ブラックイメージエリア (平均)	ブラックイメージエリアの平均値です。
30-39	30	トナーカウンタークリア　Y	[15 トナー(イエロー)]のカウント数をリセットします。

タブ／No.		項目	説明
30-39	31	トナーカウンタークリア　M	[16 トナー(マゼンタ)]のカウント数をリセットします。
	32	トナーカウンタークリア　C	[17 トナー(シアン)]のカウント数をリセットします。
	33	トナーカウンタークリア　BK	[18 トナー(ブラック)]のカウント数をリセットします。

設定例：トナーカウンターのリセット

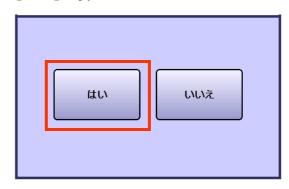
トナーカートリッジを交換したあとは、トナーカウンターが自動的にリセットされます。
トナーカウンターを手動でリセットする場合は、次の手順で操作します。

1. **<ファンクション>を押す**

2. **[カウンター確認]を押す**

3. **[30-39]を押す**

4. **[30 トナーカウンタークリア Y]～[33 トナーカウンタークリア BK]から、交換したトナーカートリッジのトナーカウンタークリアボタンを押す**

5. **[はい]を押す**

トナーカウンターがリセットされます。

6. **[閉じる]を押す**

- 設定が終了したら、**<リセット>**を押します。ファンクション設定をする前の機能の画面に戻ります。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　　月　　日	DP-C262/C262F/C322/C322F
販売店名	電話（　　）　-	
サービス実施会社名	電話（　　）　-	

パナソニック コミュニケーションズ株式会社
オフィスネットワークカンパニー

〒153-8687　東京都目黒区下目黒2-3-8　電話(03)3491-9191

L0505-3016
PJQMC0339YC
January 2006
Published in Japan